

令和4年度  
退任民生委員・児童委員を対象とした実態調査  
報告書



秋田県民生児童委員協議会



## 目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査内容	1
(3) 調査対象者数・回答数	1
(4) 調査実施主体	1
(5) 表記等について	1
2. 調査結果の概要	2
3. 調査結果	5
(1) 民生委員・児童委員としての役割	5
(2) 所属している民児協の市町村	5
(3) 性別	5
(4) 年齢	6
(5) 単位民児協での役割	7
(6) 経験年数	7
(7) 担当する区域の世帯数	8
(8) 現在、訪問・支援等で関わりがある世帯数	9
(9) 欠員等の影響による、本来の区域・役割以外での担当状況	9
(10) 本来の区域以外で担当している合計世帯数	10
(11) 本来の区域以外で、訪問・支援等関わりがある世帯数	11
(12) 現在の就労状況	11
(13) 現在の主な職業	12
(14) 初めて委員に就任した当時の就労状況	13
(15) これまでに就労した主な産業	15
(16) 初めて委員に推薦された際の主な理由として考えられること	16
(17) 委員活動に対する気持ち	18
① 有意義な活動である	18
② やりがいを感じる	19
③ 就任前のイメージより大変だった	21
④ 委員になって良かったと思う	23
(18) 委員活動で負担に感じていること	25
(19) 委員活動で特に大きな負担に感じている項目	28
(20) 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと	32
(21) 後任（予定）者の有無	34
(22) 後任（予定）者の選任方法	35
(23) 退任する主な理由	35
(24) これから民生委員・児童委員になる方に向けて一言	37
4. 調査票	41

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の目的

本調査は、民生委員・児童委員のなり手の確保及び活動環境の改善を図るため、県内の民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動実態や課題認識を把握することを目的として実施した。

### (2) 調査内容

調査対象： 令和4年12月の一斉改選で退任する秋田県内の民生委員・児童委員及び主任児童委員

調査期間： 令和4年10月17日～12月23日

調査基準日： 令和4年10月1日

調査方法： 調査票は、市町村民生児童委員協議会を通じて調査対象者へ送付し、返信用封筒（秋田県民生児童委員協議会事務局宛）にて回収した。

### (3) 調査対象者数・回答数

調査対象数： 753人

回答数： 577人（回収率：76.6%）

有効回答数： 577人（有効回答率：76.6%）

### (4) 調査実施主体

秋田県民生児童委員協議会

### (5) 表記等について

- 調査数（n=Number of cases）は、回答者総数または分類別の回答者数を示している。
- 割合は小数点第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。したがって、各回答の割合の合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答の設問の場合、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率の合計は100.0%を超える。
- 調査結果における「民生児童委員協議会」の表記は、特に必要な場合を除き「民児協」と表記している。

## 2. 調査結果の概要

### <回答者の属性>

- ・民生委員・児童委員としての役割については、区域担当委員（主任児童委員ではない）が 8 割、主任児童委員が 1 割未満であった。
- ・所属している民児協の市町村については、区域担当委員は、市部が 9 割弱、町村部が 1 割であった。また、主任児童委員は市部のみであった。
- ・性別については、区域担当委員は、男性と女性の割合がほぼ半数ずつであった一方、主任児童委員は、女性が 9 割弱を占めた。また、市部では男性と女性の割合がほぼ半数ずつであった一方、町村部では女性が 7 割を占めた。
- ・年齢（令和 4 年 12 月 1 日時点）については、区域担当委員、主任児童委員ともに「70～74 歳」が最も高い割合であった。区域担当委員では 70 歳以上の割合が 7 割を占めた一方、主任児童委員では 4 割であった。
- ・単位民児協での役割については、区域担当委員は 4 割、主任児童委員は 5 割とともに半数近くが単位民児協での役割を持っていた。また、市部では 4 割が役割を持っていた一方、町村部では 2 割と低い割合であった。
- ・経験年数については、区域担当委員、主任児童委員ともに 4 期以下（12 年以下）の委員が 6 割を占めた。

### <担当世帯数について>

- ・区域担当委員の担当する区域の世帯数については、「99 世帯以下」が約半数を占めた。
- ・現在、訪問・支援等で関わりがある世帯数（本来の担当区域・地域分のみ）については、区域担当委員は、「4 世帯以下」から「100 世帯以上」までのいずれの割合も 1 割前後であった一方、主任児童委員は、「4 世帯以下」の割合が 3 割台で最も高かった。
- ・欠員等の影響による、本来の区域・役割以外での担当状況については、区域担当委員、主任児童委員ともに「担当していない」が最も高く、区域担当委員では 9 割、主任児童委員では 8 割を占めた。
- ・本来の区域以外で担当している合計世帯数については、区域担当委員は「99 世帯以下」が 6 割台で最も高かった。また、市部では「99 世帯以下」が 5 割を占めた。
- ・本来の区域以外で、訪問・支援等関わりがある世帯数については、区域担当委員は「5 世帯以上」が 4 割台で最も高かった。

### <就労状況について>

- ・現在の就労状況については、区域担当委員、主任児童委員ともに、「就労していない」が 6 割を占めて、最も高い割合であった。
- ・現在の主な職業については、区域担当委員、主任児童委員ともに「自営業」が最も高い割合であったほか、主任児童委員では「会社員」、「その他」も同率で最も高い割合であった。また、「福祉事業従事者」の割合は、市部が 1 割未満であった一方、町村部では 2 割弱を占め、やや高い割合であった。
- ・初めて委員に就任した当時の就労状況については、区域担当委員、主任児童委員とも

に、半数が就労していた。また、年齢別、経験年数別にみると、現在の年齢が高い委員ほど、初めて委員に就任したときに「就労していなかった」傾向がみられたほか、経験年数が長いほど、初めて委員に就任したときに「就労していた」傾向がみられた。

- ・これまでに就労した主な産業（常勤・非常勤問わず、家族従業員含む）については、区域担当委員では「公務」、主任児童委員では「福祉」がいずれも2割弱で最も高かった。また、性別でみると、男性、女性ともに「公務」が最も高く、男性はこれに「農林水産業」、「建設業、鉱業」、女性は「福祉」、「なし（専業主婦・夫含む）」が続いた。

#### <委員に推薦された理由について>

- ・初めて委員に推薦された際の主な理由として考えられることについては、区域担当委員では「自治会・町内会での活動経験があったから」、主任児童委員では「仕事（福祉・教育・宗教関係、公務員等）の関連から」がいずれも3割台で最も高かった。また、区域担当委員は「自治会・町内会での活動経験があったから」、主任児童委員は「PTA活動や子育ての経験があったから」の割合が、両者を比較して高い割合であった。性別にみると、男性は「自治会・町内会での活動経験があったから」が半数を占めた一方、女性では1割台と男性に比べて低い割合であった。

#### <民生委員・児童委員の意識について>

- ・委員活動に対して有意義な活動であると感じるかについては、区域担当委員、主任児童委員ともに、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合（以下「そう思う」）が7割を占めた一方、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」を合わせた割合（以下「そう思わない」）は1割未満であった。また、年齢別にみると、年齢が高いほど、「とてもそう思う」割合が高い傾向がみられた。
- ・委員活動に対してやりがいを感じるかについては、区域担当委員、主任児童委員ともに「そう思う」が6割であった一方、「そう思わない」は1割前後であった。また、年齢別にみると、60歳以上の年齢では「そう思わない」がいずれも1割前後であり、年齢が上がるにつれ、「やりがいを感じる」傾向がみられた。
- ・委員活動に対して就任前のイメージより大変だったかについては、主任児童委員では「そう思う」が4割弱であった一方、区域担当委員では6割を超え、区域担当委員の方が就任前のイメージより大変だったと感じている傾向がみられた。また、年齢別にみると、50～59歳では「とてもそう思う」が半数を占め、年齢が低いほど、「とてもそう思う」割合が高く、就任前のイメージより大変だったと感じている傾向がみられた。
- ・委員になって良かったと思うかについては、区域担当委員では「そう思う」が7割であった一方、主任児童委員では9割弱と高い割合を占め、主任児童委員の方が委員になって良かったと感じている傾向がみられた。また、年齢別にみると、年齢が高いほど、委員になって良かったと思っている傾向がみられた。
- ・委員活動で負担に感じていることについては、区域担当委員では、「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」が4割、主任児童委員では、「活動の範囲や役割が明確化されていない」が4割弱で最も高かった。また、区域担当委員では「地域住民の見守り・

安否確認の活動負担が大きい」が4割を超えた一方、主任児童委員では1割未満と低い割合であったほか、「活動の範囲や役割が明確化されていない」は、区域担当委員が2割であった一方、主任児童委員が4割弱でやや高かった。

また、**特に大きな負担に感じている項目**については、区域担当委員と主任児童委員を比較すると、前述の項目のほか、区域担当委員では「住民から委員活動に関する誤解がある（活動範囲等）」、主任児童委員では「活動記録の記入が煩わしい」の割合が高かった。市部・町村部を比較すると、町村部では「住民から委員活動に関する誤解がある（活動範囲等）」、「個人情報をごどこまで提供して良いか分からない」、「一人での訪問が難しい対象者がいる」、「担当する世帯数が多い」の割合が高かった一方、「会議や研修などへの参加依頼が多い」は市部の割合がやや高かった。

- ・**持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと**については、区域担当委員では、「委員活動に必要な個人情報の提供」が4割、主任児童委員では、「委員活動の範囲や役割の明確化」が5割で最も高かった。また、区域担当委員と主任児童委員を比較すると、「委員活動に必要な個人情報の提供」、「適切な“つなぎ先”の確保、“つなぎ先”についての情報提供」は主任児童委員に比べて区域担当委員が高い割合であった一方、「委員活動の範囲や役割の明確化」、「委員及び委員活動に対する認知度の向上」は区域担当委員に比べて主任児童委員が高い割合であった。経験年数別にみると、「委員活動の範囲や役割の明確化」は経験年数が短いほど、割合が高い傾向があり、「委員活動に必要な個人情報の提供」は経験年数が長いほど、割合が高い傾向がみられた。

#### <後任（予定）者について>

- ・**後任（予定）者の有無**については、「決まっている」が区域担当委員では8割弱、主任児童委員では9割弱とともに最も高い割合となった。また、「欠員となる予定」は、区域担当委員では1割未満であった一方、主任児童委員では皆無であった。
- ・**後任（予定）者の選任方法**については、区域担当委員は「自治会・町内会が候補者を探す（推薦する）」、主任児童委員は「ご自身で後任者を探す」がいずれも4割台で最も高かった。

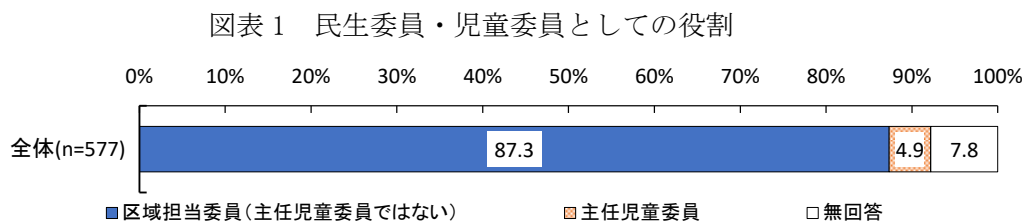
#### <退任理由について>

- ・区域担当委員、主任児童委員ともに「体力・健康上の理由から」がいずれも3割台で最も高かった。年齢別では、「体力・健康上の理由から」、「選任要件に合わなくなるから（年齢、制限を超える、転居予定等）」がいずれも年齢が高いほど、割合が高い傾向があった。また、50～64歳では「仕事を優先したいから」の割合が高く、特に50代では4割を超え、最も高い割合であった。

### 3. 調査結果

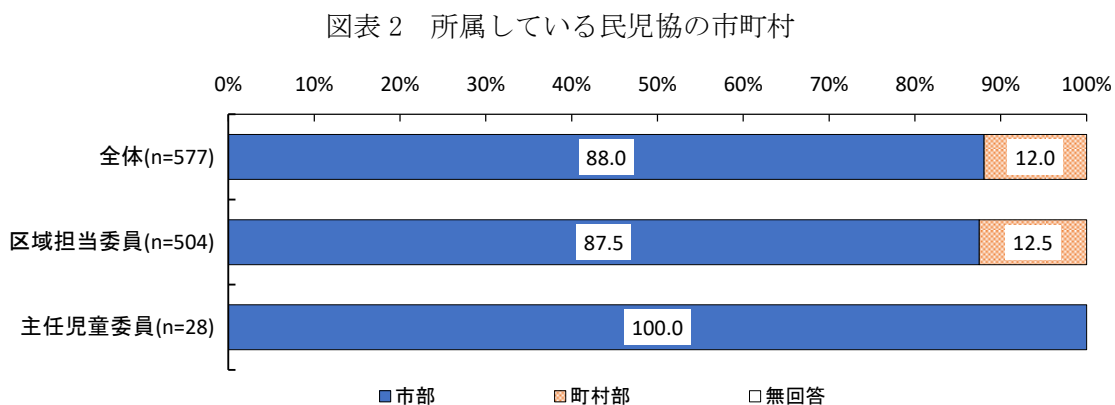
#### (1) 民生委員・児童委員としての役割

区域担当委員（主任児童委員ではない）が87.3%、主任児童委員が4.9%であった。



#### (2) 所属している民児協の市町村

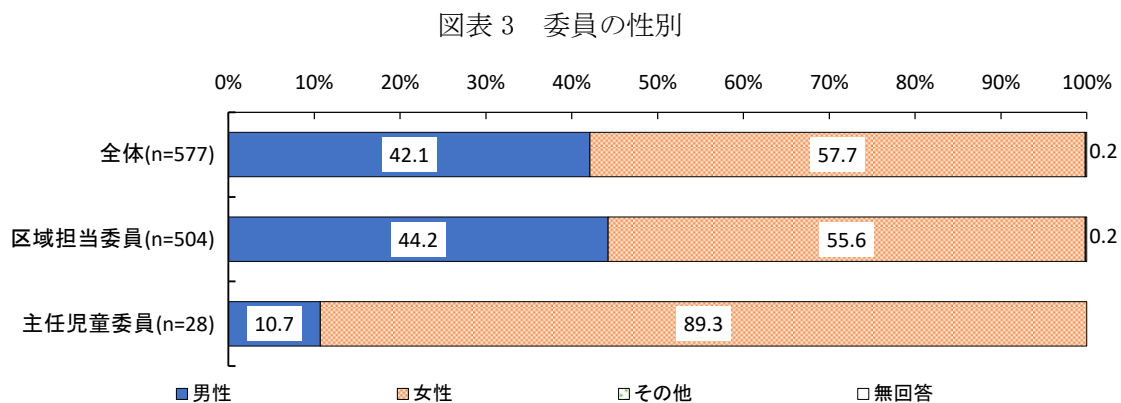
区域担当委員は、市部が87.5%、町村部が12.5%であった。また、主任児童委員は市部のみであった。



#### (3) 性別

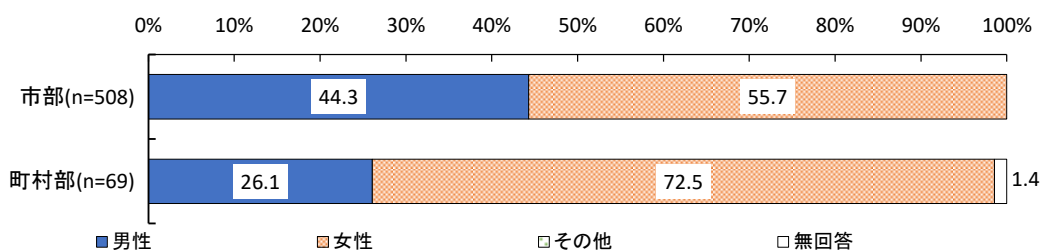
区域担当委員は、男性が44.2%、女性が55.6%とほぼ半数ずつであった一方、主任児童委員は、女性が9割弱を占め、高い割合であった。

市部・町村部別にみると、市部では女性が5割であった一方、町村部では女性が7割を超え、高い割合であった。





図表4 委員の性別（市部／町村部別）

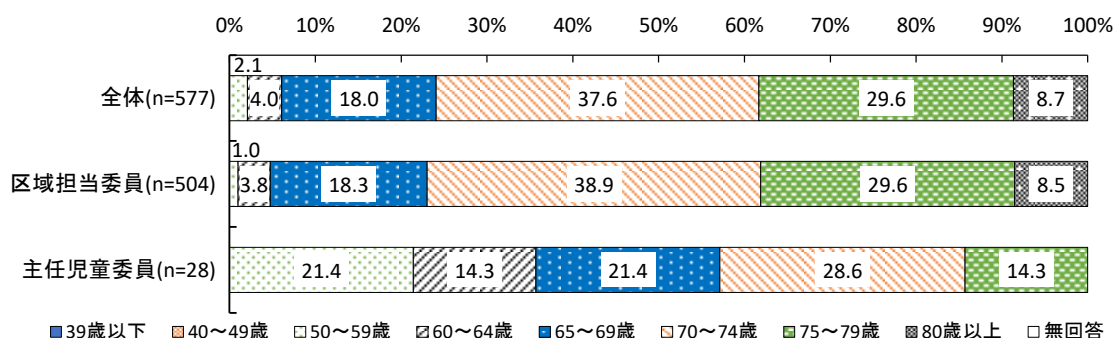


(4) 年齢（令和4年12月1日時点）

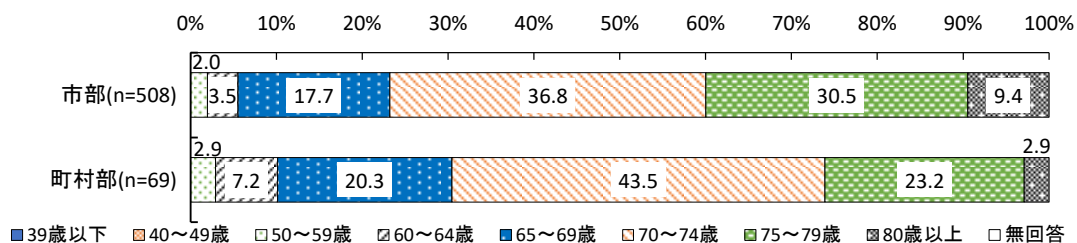
区域担当委員は、「70～74歳」が38.9%で最も高く、次いで「75～79歳」が29.6%が続いており、主任児童委員は、「70～74歳」が28.6%で最も高く、次いで「65～69歳」が21.4%が続いた。区域担当委員と主任児童委員を比較すると、70歳以上の割合が区域担当委員では7割を占めた一方、主任児童委員では4割であった。区域担当委員と主任児童委員ともに50歳未満はいなかった。

市部・町村部別にみると、どちらも「70～74歳」の割合が最も高く、次いで「75～79歳」が続いた。

図表5 委員の年齢



図表6 委員の年齢（市部／町村部別）

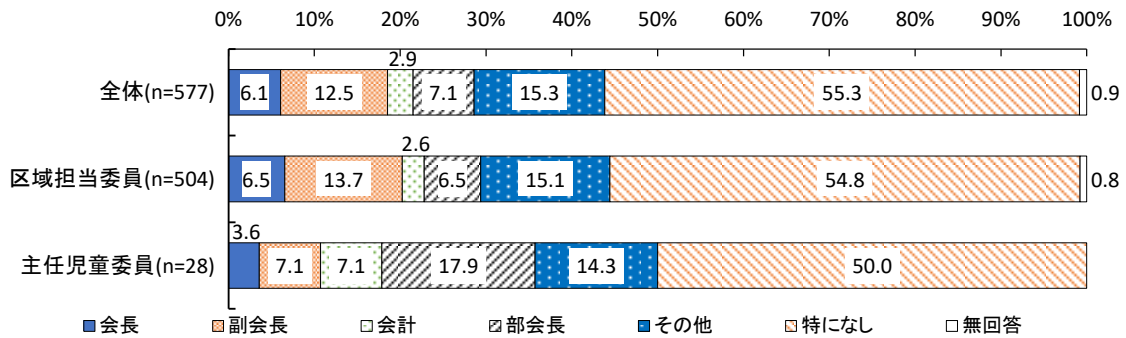


### (5) 単位民児協での役割

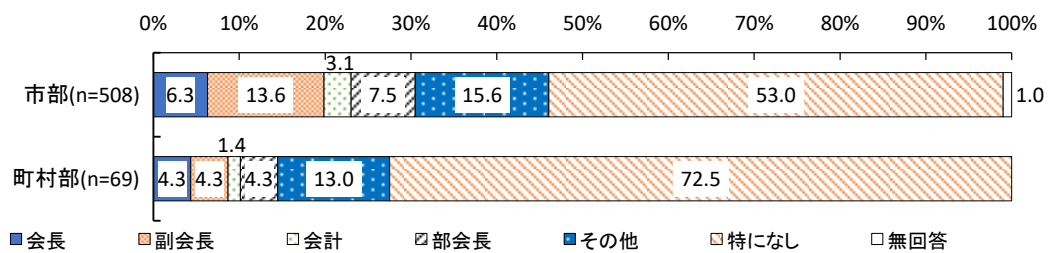
役割を持っていた委員（「その他」を含む）の割合は、区域担当委員は44.4%、主任児童委員は50.0%と半数近くが役割を持っていた。最も割合が高かった役割は、区域担当委員は「その他」（15.1%）、主任児童委員は「部会長」（17.9%）であった。

市部・町村部別にみると、市部では4割が役割を持っていた一方、町村部では2割と低い割合であった。

図表7 単位民児協での役割



図表8 単位民児協での役割（市部／町村部別）

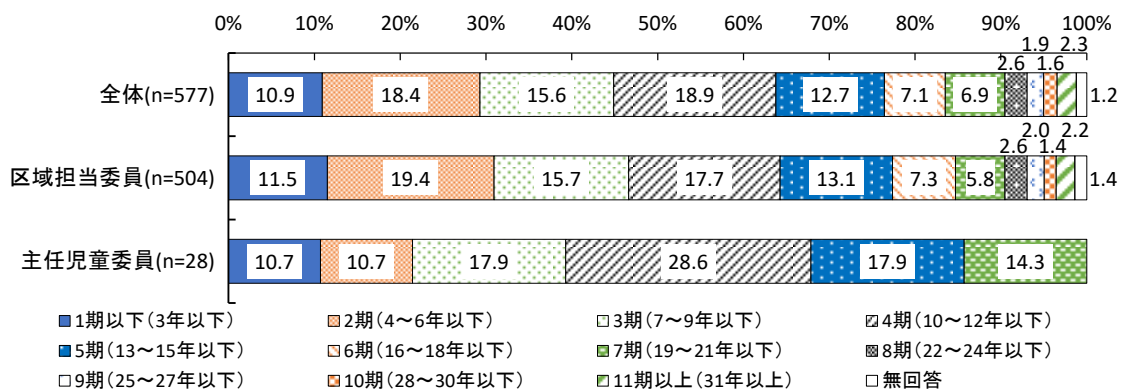


### (6) 経験年数

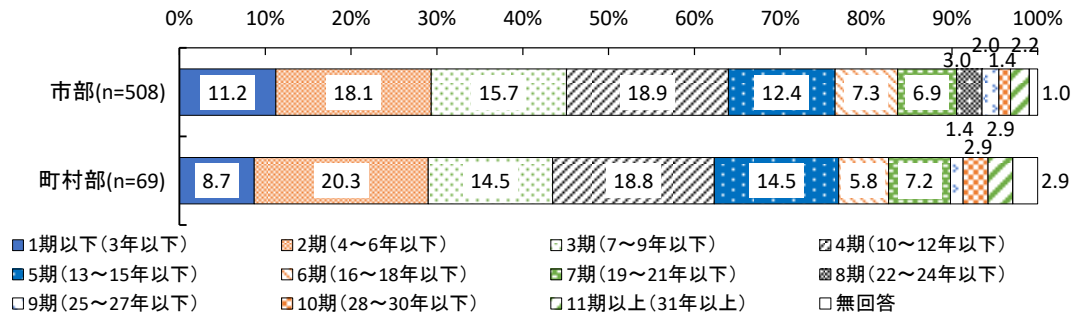
区域担当委員、主任児童委員ともに4期以下（12年以下）の委員が6割を占めた。委員の平均経験年数は、区域担当委員が11.8年、主任児童委員が11.3年であった。

市部と町村部別にみると、市部、町村部ともに4期以下の委員が6割を占め、平均経験年数は市部、町村部ともに12.1年であった。

図表9 委員の経験年数



図表 10 委員の経験年数（市部／町村部別）

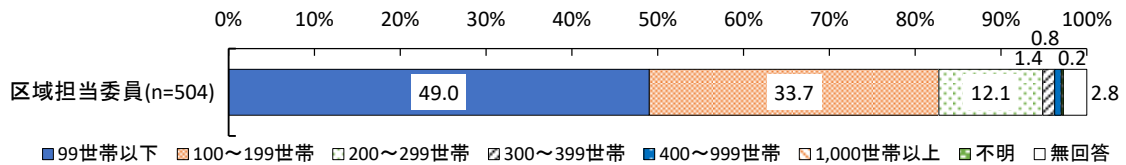


(7) 担当する区域の世帯数【区域担当委員のみ回答】

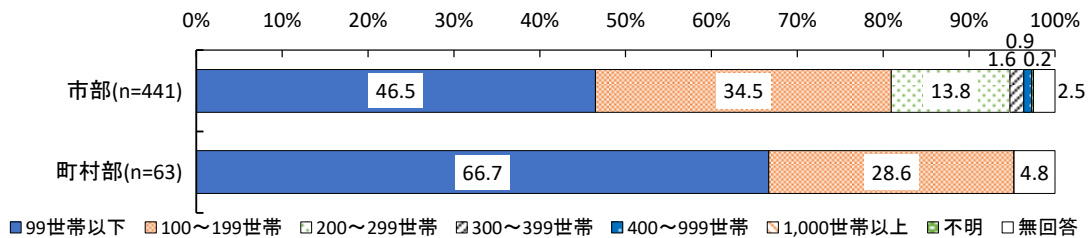
区域担当委員の担当する区域の世帯数は、「99 世帯以下」が 49.0%と約半数を占め、最も高い割合であった。

市部・町村部別にみると、いずれも「99 世帯以下」の割合が最も高く、市部では 4 割、町村部では 6 割を占めた。

図表 11 担当する区域の世帯数



図表 12 担当する区域の世帯数（市部／町村部別）

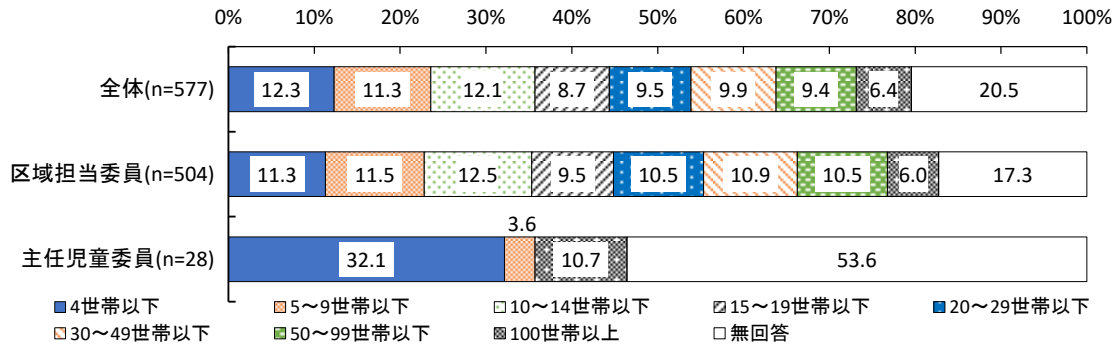


(8) 現在、訪問・支援等で関わりがある世帯数（本来の担当区域・地域分のみ）

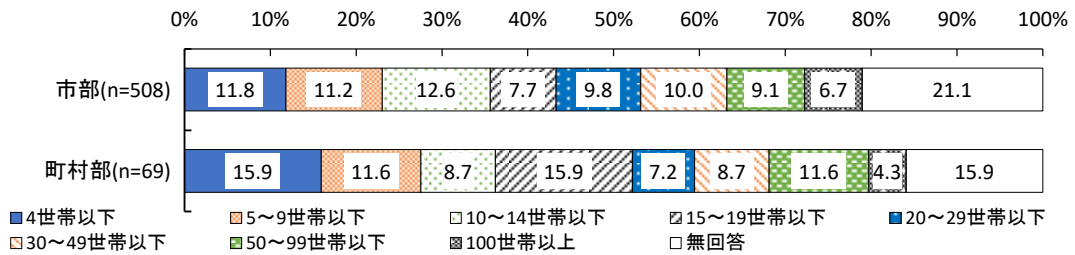
区域担当委員は、いずれの割合も1割前後であった。主任児童委員は、「4世帯以下」の割合が32.1%で最も高かった（「無回答」を除く）。

市部・町村部別にみると、市部、町村部ともに、いずれの項目も1割前後であった（「無回答」を除く）。

図表 13 訪問・支援等で関わりがある世帯数



図表 14 訪問・支援等で関わりがある世帯数（市部／町村部別）

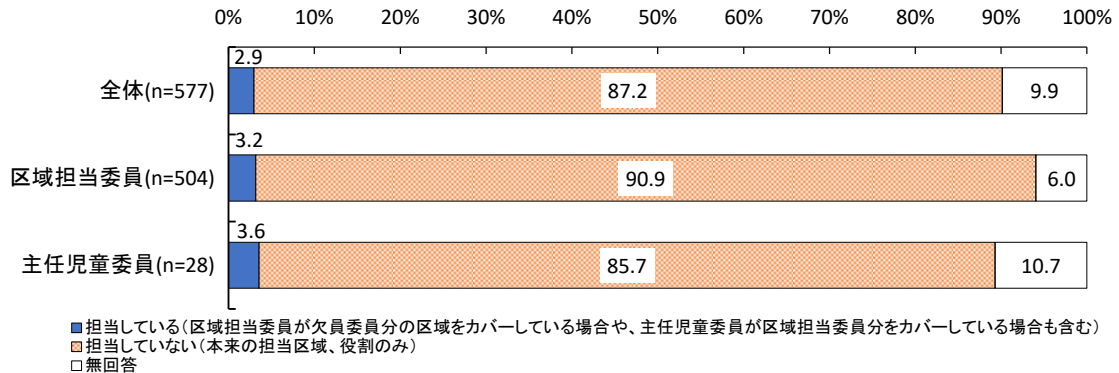


(9) 欠員等の影響による、本来の区域・役割以外での担当状況

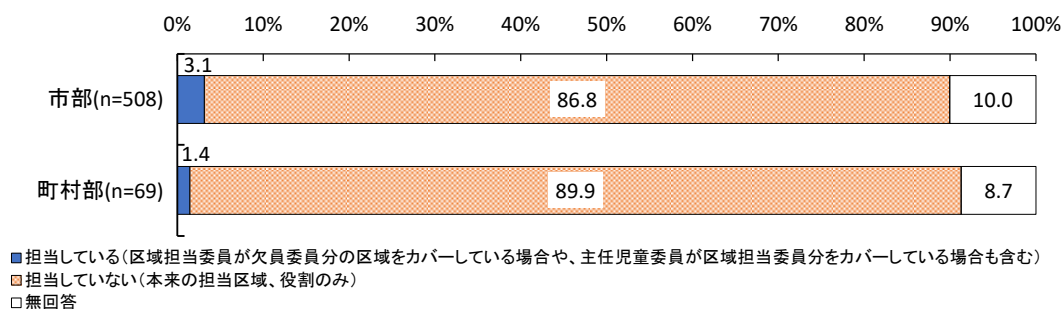
区域担当委員、主任児童委員ともに「担当していない」が最も高く、区域担当委員では90.9%、主任児童委員では85.7%と高い割合を占めた。

市部・町村部別にみると、市部、町村部ともに「担当していない」が8割を占めた。

図表 15 本来の区域・役割以外での担当状況



図表 16 本来の区域・役割以外での担当状況（市部／町村部別）

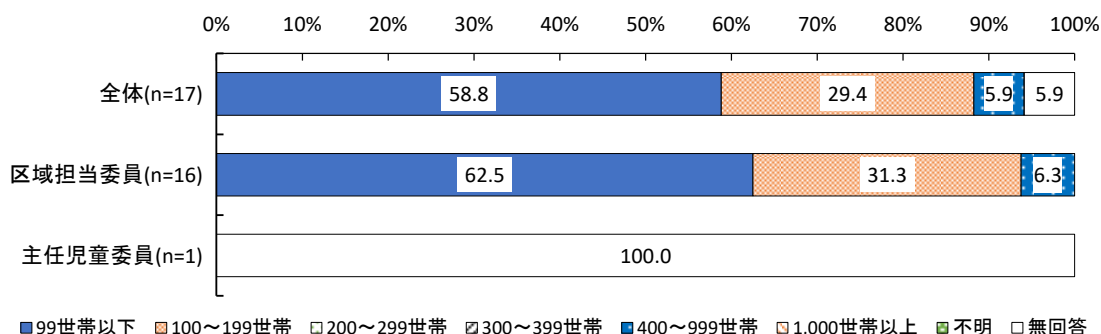


(10) 本来の区域以外で担当している合計世帯数【担当している方のみ回答】

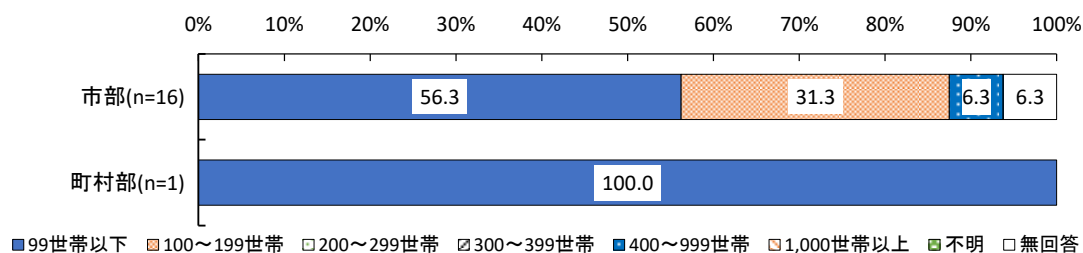
区域担当委員は、「99世帯以下」が62.5%と最も高く、次いで「100～199世帯」が31.3%で続いた。

市部・町村部別にみると、市部は「99世帯以下」が56.3%と最も高く、次いで「100～199世帯」が31.3%で続いた。

図表 17 本来の区域・役割以外での担当状況



図表 18 本来の区域・役割以外での担当状況（市部／町村部別）

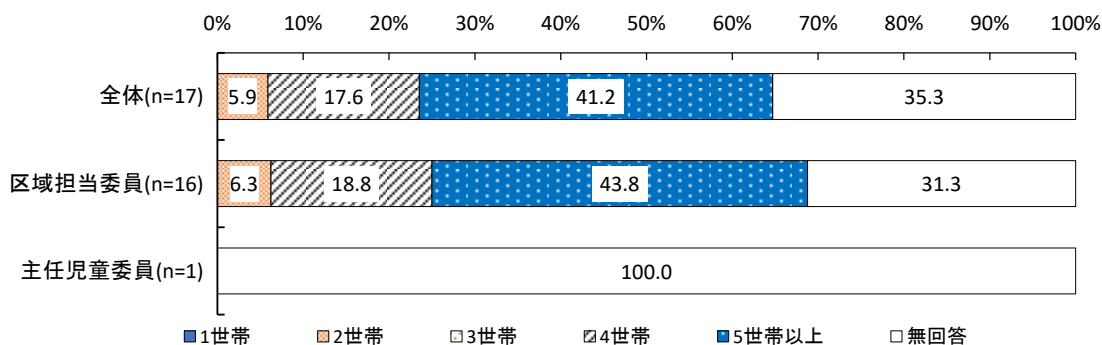


(11) 本来の区域以外で、訪問・支援等関わりがある世帯数【担当している方のみ回答】

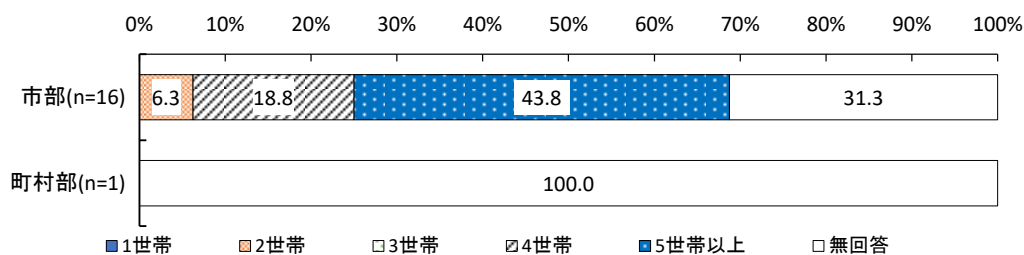
区域担当委員は、「5世帯以上」が43.8%と最も高く、「4世帯」が18.8%で続いた。

市部・町村部別にみると、市部は「5世帯以上」が43.8%と最も高く、次いで「4世帯」が18.8%で続いた。

図表 19 本来の区域以外で、訪問・支援等関わりがある世帯数



図表 20 本来の区域以外で、訪問・支援等関わりがある世帯数（市部／町村部別）



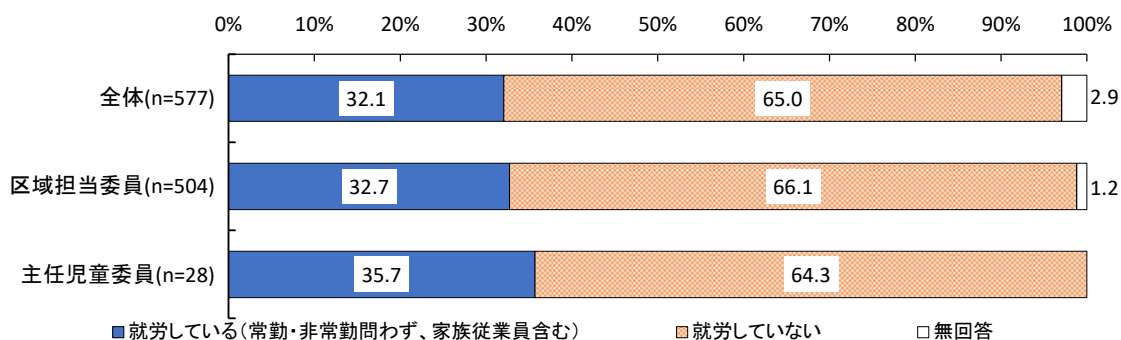
(12) 現在の就労状況

区域担当委員、主任児童委員ともに、「就労していない」が6割を占めて、最も高い割合であった。

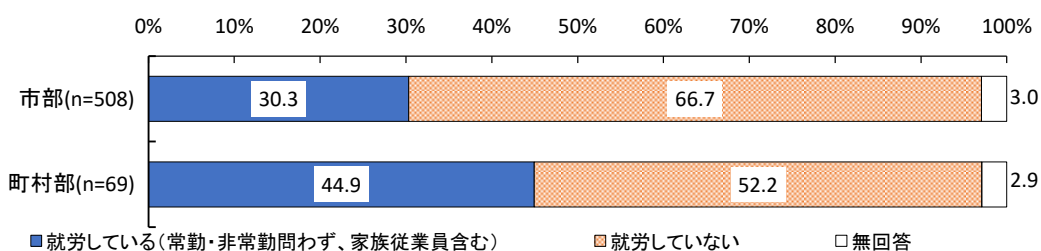
市部・町村部別にみると、「就労していない」割合は、市部は6割、町村部は5割であった。

年齢別にみると、「就労している」割合は、50～59歳は8割であった一方、80歳以上では1割と、年齢が高いほど「就労している」割合は低い傾向がみられた。

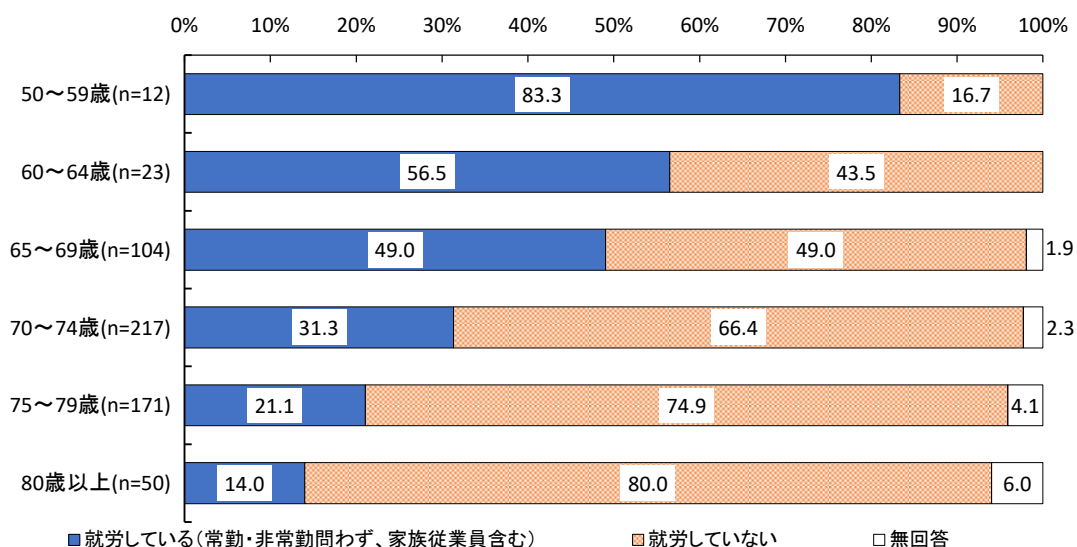
図表 21 現在の就労状況



図表 22 現在の就労状況（市部／町村部別）



図表 23 現在の就労状況（年齢別）

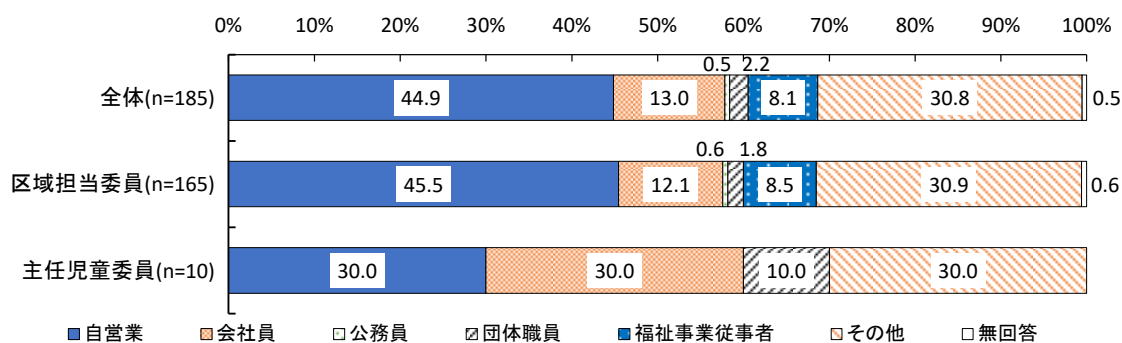


(13) 現在の主な職業【就労している方のみ回答】

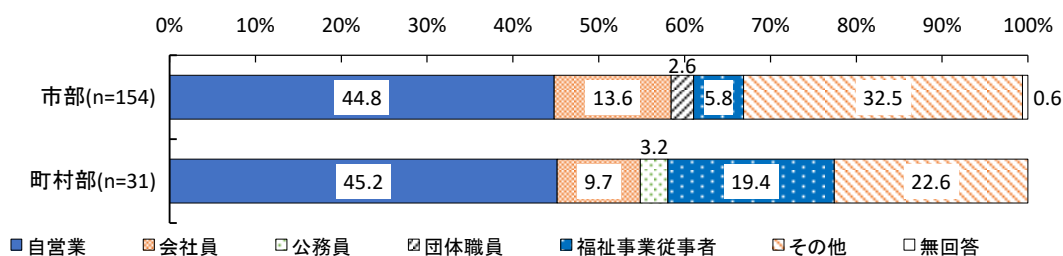
区域担当委員は「自営業」が45.5%で最も高く、主任児童委員は「自営業」、「会社員」、「その他」がいずれも30.0%で高い割合であった。

市部・町村部別にみると、市部、町村部ともに、「自営業」が4割台で最も高い割合であった。また、「福祉事業従事者」の割合は、町村部（19.4%）が市部（5.8%）に比べて、やや高い割合であった。

図表 24 現在の主な職業



図表 25 現在の主な職業（市部／町村部別）



#### (14) 初めて委員に就任した当時の就労状況

区域担当委員、主任児童委員ともに、半数が就労していた。

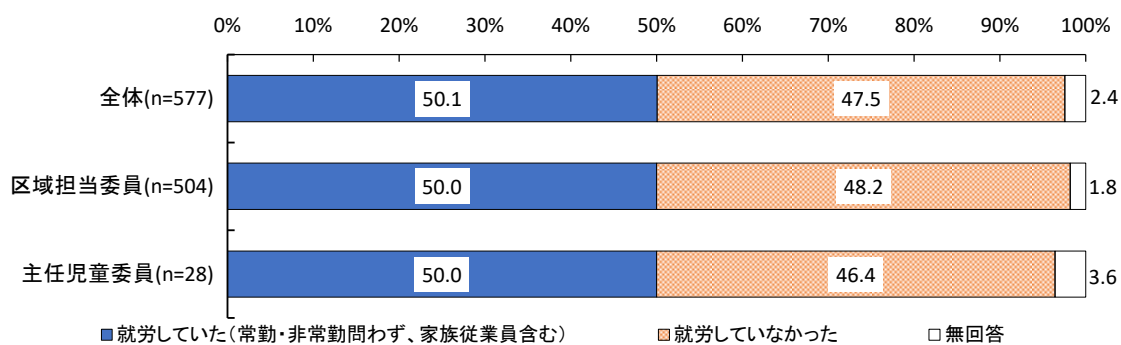
市部・町村部別にみると、「就労していた」割合は、町村部（59.4％）が市部（48.8％）に比べて、やや高い割合であった。

性別にみると、「就労していた」割合は、男性（59.7％）が女性（43.2％）に比べて、やや高い割合であった。

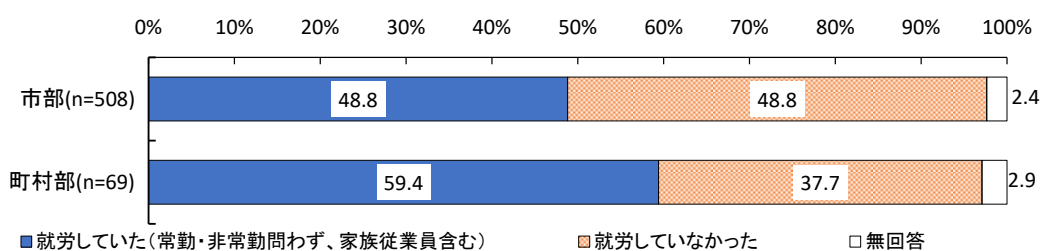
年齢別にみると、50歳～59歳は7割が就労していた一方、80歳以上では3割と低い割合で、現在の年齢が高い委員ほど、初めて委員に就任したときに「就労していなかった」傾向がみられた。

経験年数別にみると、1期以下では「就労していた」割合が3割であった一方、11期以上では7割弱であり、経験年数が長いほど、初めて委員に就任したときに「就労していた」傾向がみられた。

図表 26 初めて委員に就任した当時の就労状況

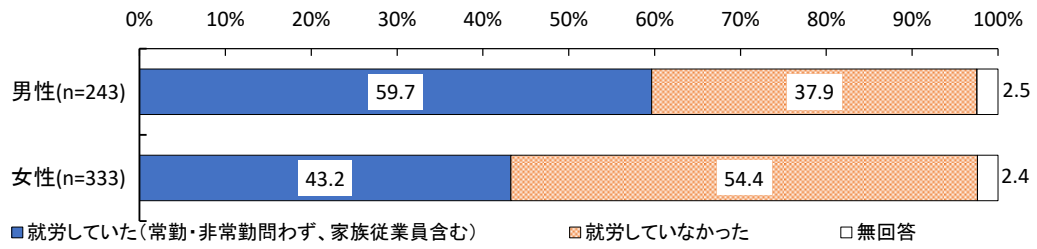


図表 27 初めて委員に就任した当時の就労状況（市部／町村部別）

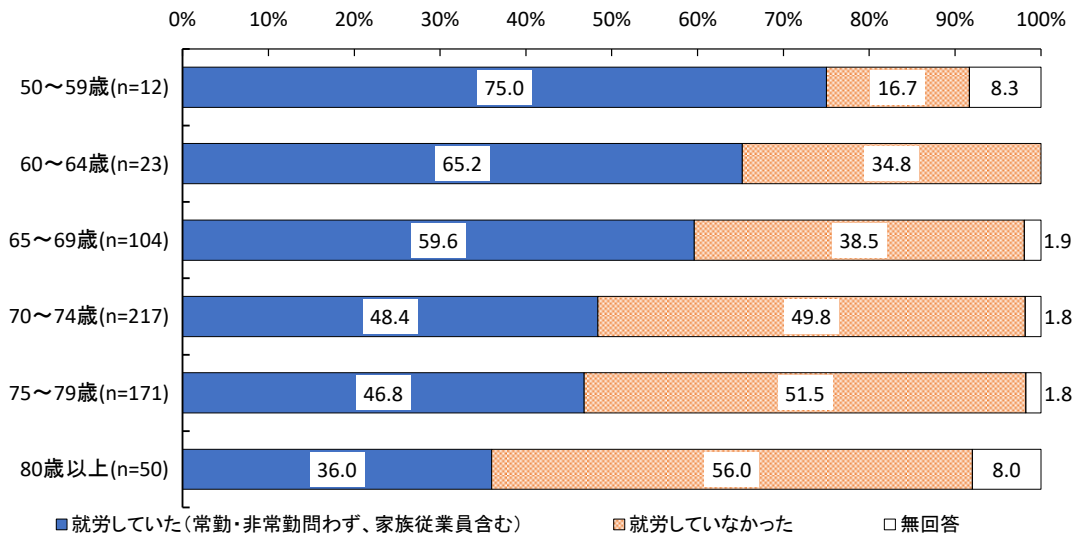




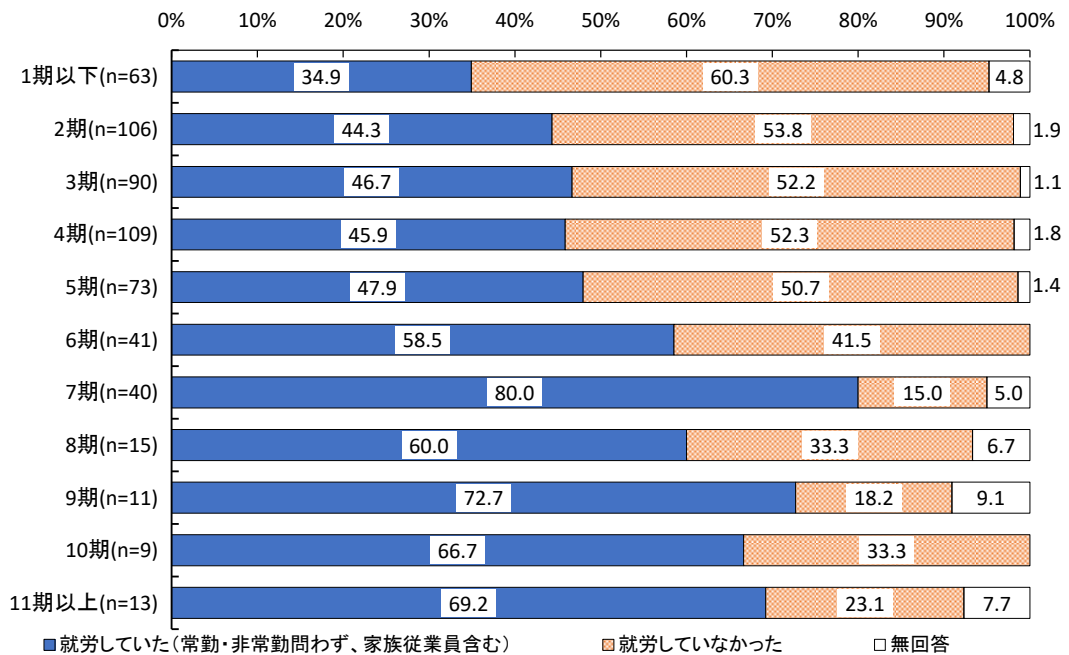
図表 28 初めて委員に就任した当時の就労状況（性別）



図表 29 初めて委員に就任した当時の就労状況（年齢別）



図表 30 初めて委員に就任した当時の就労状況（経験年数別）



(15) これまでに就労した主な産業（常勤・非常勤問わず、家族従業員含む）

区域担当委員では、「公務」が17.7%で最も高く、次いで「農林水産業」(11.7%)、「製造業」(9.5%)となった。主任児童委員では、「福祉」が17.9%で最も高く、次いで「卸売・小売業」、「教育系サービス業」、「サービス業（他に分類されないもの）」、「公務」、「その他」がいずれも10.7%で続いた。

市部・町村部別にみると、市部では、「公務」が17.1%で最も高く、次いで「農林水産業」(10.2%)、「卸売・小売業」(8.9%)となった。町村部では、「農林水産業」が18.8%で最も高く、次いで「福祉」が14.5%、「製造業」と「公務」がともに10.1%で続いた。

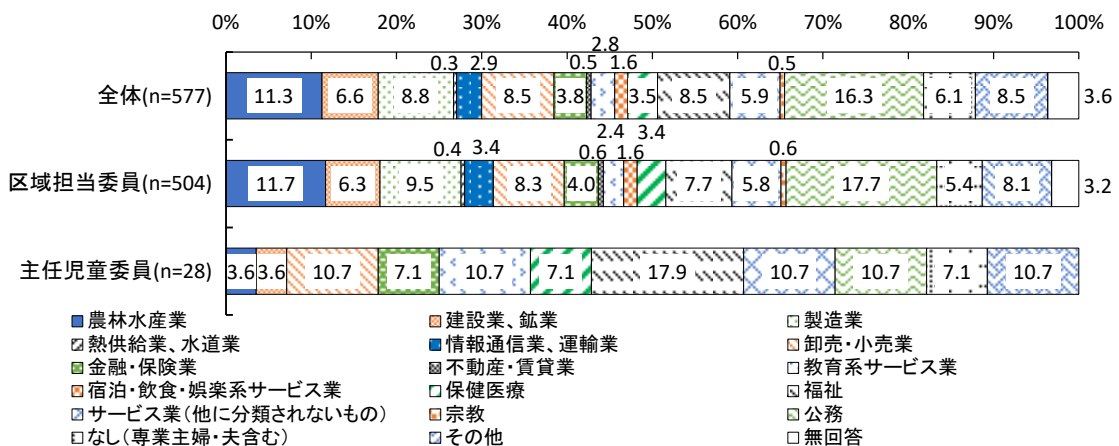
性別にみると、男性では「公務」(20.2%)、「農林水産業」(17.3%)、「建設業、鉱業」(9.9%)の順で続いた。女性では「公務」(13.5%)、「福祉」(12.0%)、「なし（専業主婦・夫含む）」(10.5%)の順で続いた。

図表 31 これまでに就労した主な産業 一覧

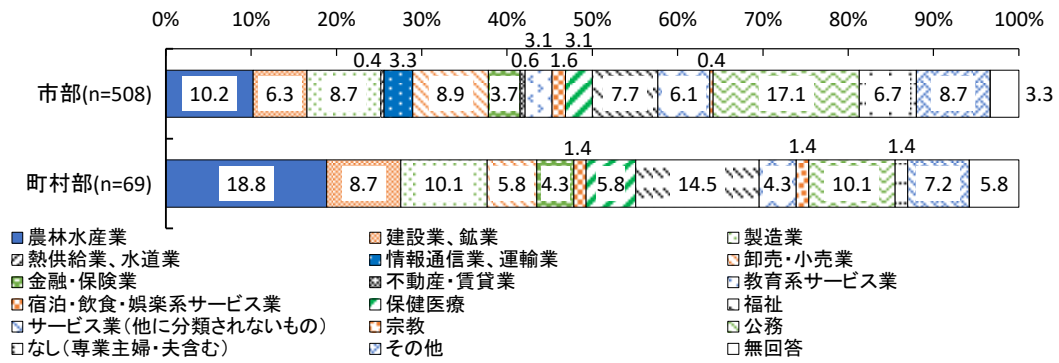
	全体 (n=577)	区域担当委員 (n=504)	主任児童委員 (n=28)	市部 (n=508)	町村部 (n=69)	男性 (n=243)	女性 (n=333)
農林水産業	11.3%	11.7%	3.6%	10.2%	18.8%	17.3%	6.9%
建設業、鉱業	6.6%	6.3%	3.6%	6.3%	8.7%	9.9%	3.9%
製造業	8.8%	9.5%	0.0%	8.7%	10.1%	9.5%	8.4%
熱供給業、水道業	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.8%	0.0%
情報通信業、運輸業	2.9%	3.4%	0.0%	3.3%	0.0%	5.8%	0.9%
卸売・小売業	8.5%	8.3%	10.7%	8.9%	5.8%	8.2%	8.7%
金融・保険業	3.8%	4.0%	7.1%	3.7%	4.3%	3.3%	4.2%
不動産・賃貸業	0.5%	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%	0.8%	0.3%
教育系サービス業	2.8%	2.4%	10.7%	3.1%	0.0%	1.6%	3.6%
宿泊・飲食・娯楽系サービス業	1.6%	1.6%	0.0%	1.6%	1.4%	1.2%	1.8%
保健医療	3.5%	3.4%	7.1%	3.1%	5.8%	1.2%	5.1%
福祉	8.5%	7.7%	17.9%	7.7%	14.5%	3.7%	12.0%
サービス業(他に分類されないもの)	5.9%	5.8%	10.7%	6.1%	4.3%	6.2%	5.7%
宗教	0.5%	0.6%	0.0%	0.4%	1.4%	0.8%	0.3%
公務	16.3%	17.7%	10.7%	17.1%	10.1%	20.2%	13.5%
なし(専業主婦・夫含む)	6.1%	5.4%	7.1%	6.7%	1.4%	0.0%	10.5%
その他	8.5%	8.1%	10.7%	8.7%	7.2%	7.4%	9.3%
無回答	3.6%	3.2%	0.0%	3.3%	5.8%	2.1%	4.8%

※ 〇：上位1項目、□：上位3項目

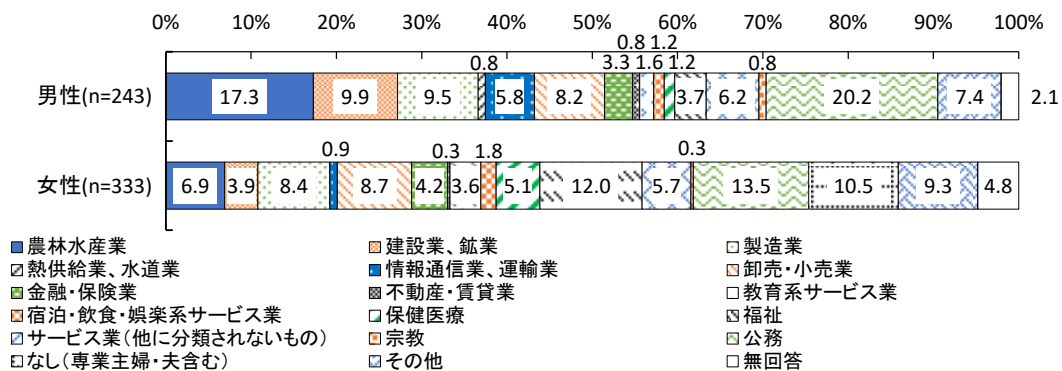
図表 32 これまでに就労した主な産業



図表 33 これまでに就労した主な産業（市部／町村部別）



図表 34 これまでに就労した主な産業（性別）



(16) 初めて委員に推薦された際の主な理由として考えられること

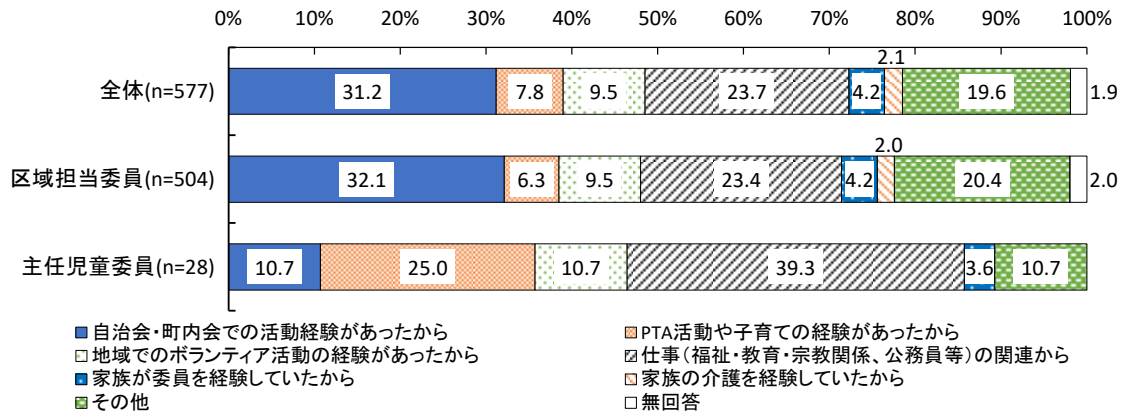
区域担当委員では「自治会・町内会での活動経験があったから」が32.1%で最も高く、次いで「仕事（福祉・教育・宗教関係、公務員等）の関連から」（23.4%）が続いた。主任児童委員では「仕事（福祉・教育・宗教関係、公務員等）の関連から」が39.3%で最も高く、次いで「PTA活動や子育ての経験があったから」（25.0%）が続いた。

区域担当委員と主任児童委員を比較すると、区域担当委員は「自治会・町内会での活動経験があったから」、主任児童委員は「PTA活動や子育ての経験があったから」の割合が、両者を比較して高い割合であった。

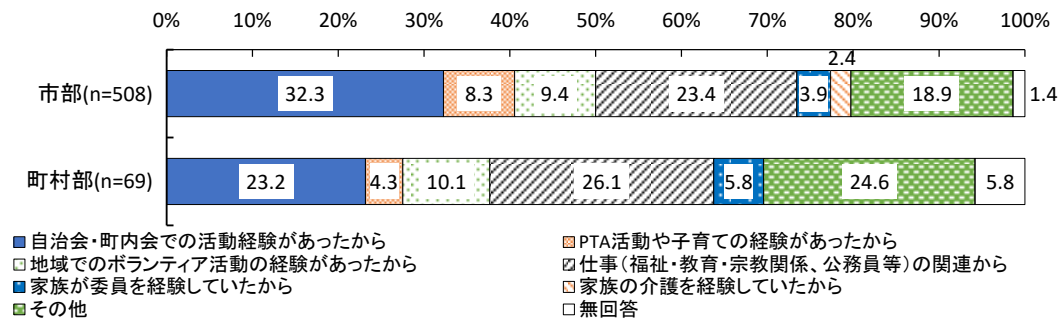
市部・町村部別にみると、市部では「自治会・町内会での活動経験があったから」が32.3%で最も高く、町村部では「仕事（福祉・教育・宗教関係、公務員等）の関連から」が26.1%で最も高かった。

性別にみると、男性は「自治会・町内会での活動経験があったから」が51.0%と半数を占めた一方、女性では16.7%と男性に比べて低い割合であった。女性は「仕事（福祉・教育・宗教関係、公務員等）の関連から」が26.7%で最も高かった。

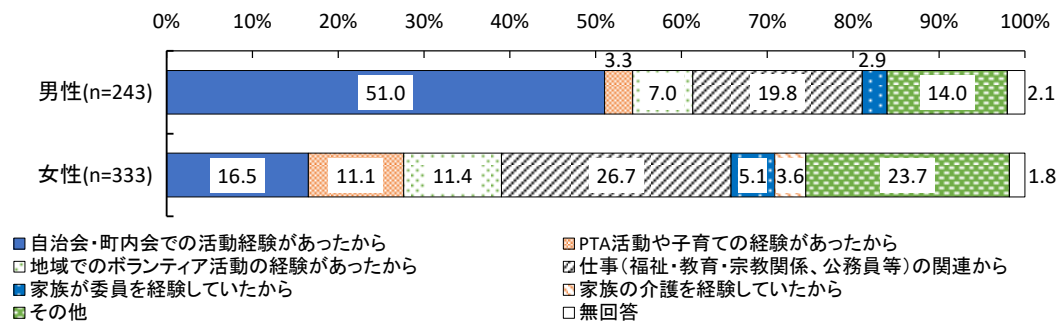
図表 35 委員に推薦された理由



図表 36 委員に推薦された理由 (市部/町村部別)



図表 37 委員に推薦された理由 (性別)



(17) 委員活動に対する気持ち

① 有意義な活動である

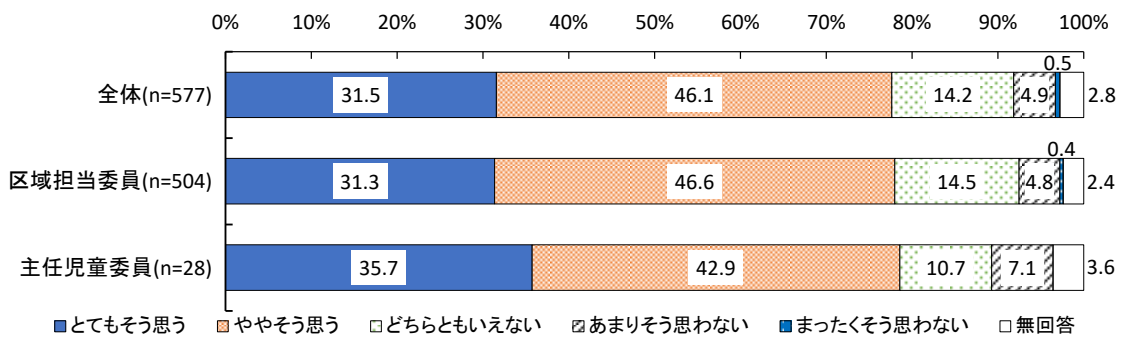
区域担当委員では、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合（以下「そう思う」）は77.9%で、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」を合わせた割合（以下「そう思わない」）の5.2%よりも高かった。主任児童委員では、「そう思う」（78.6%）が「そう思わない」（7.1%）よりも高かった。

市部・町村部別にみると、市部、町村部ともに、「そう思う」が7割を超えた。

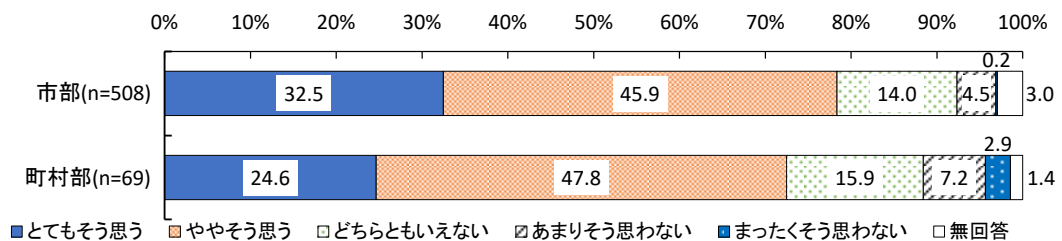
年齢別にみると、すべての年齢で「そう思う」が「そう思わない」より高かった。また、年齢が高いほど、「とてもそう思う」割合が高い傾向がみられた。

経験年数別にみると、すべての経験年数で「そう思う」が「そう思わない」より高く、8期以上では「そう思わない」がいずれも0.0%であった。

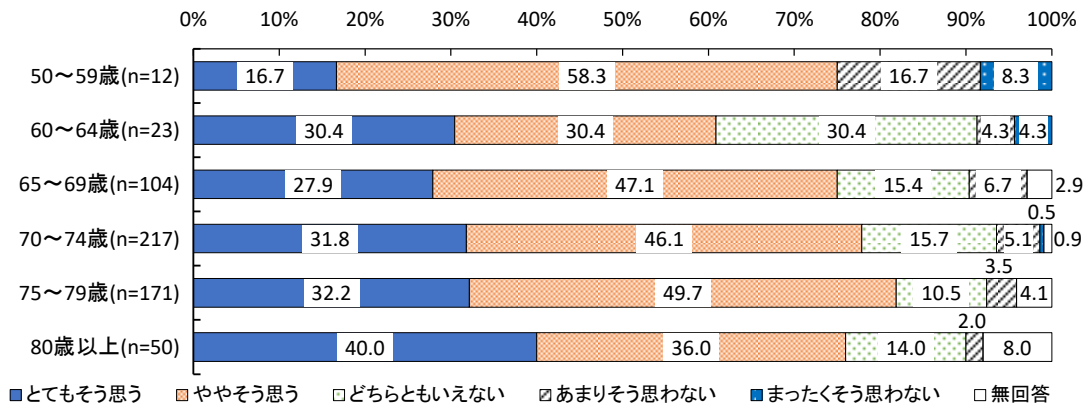
図表 38 有意義な活動である



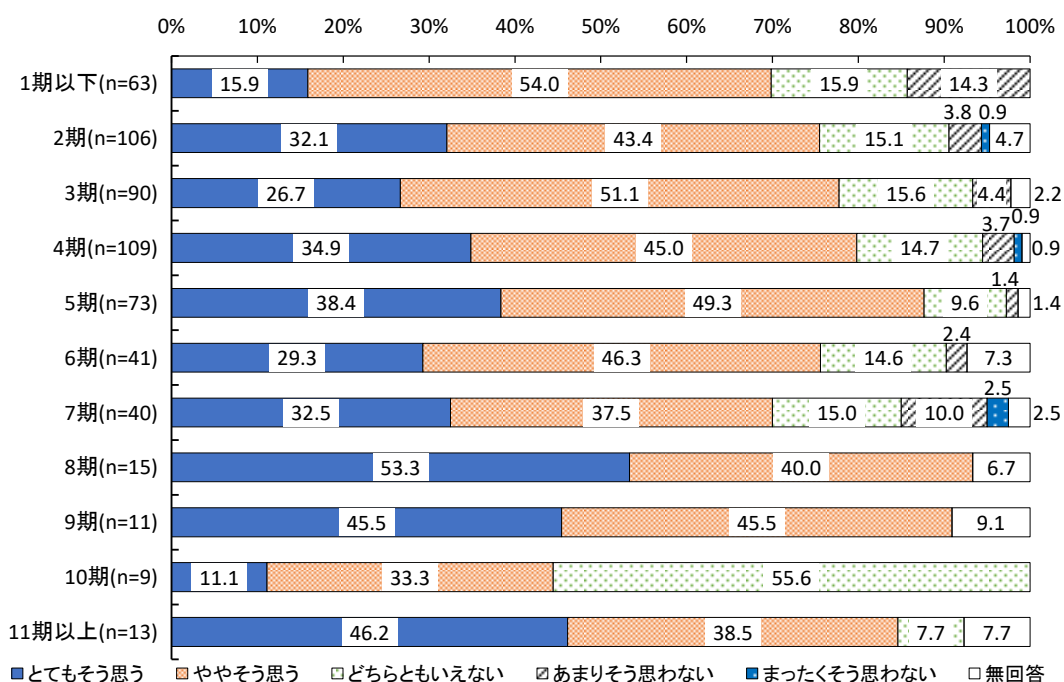
図表 39 有意義な活動である（市部／町村部別）



図表 40 有意義な活動である（年齢別）



図表 41 有意義な活動である（経験年数別）



## ② やりがいを感じる

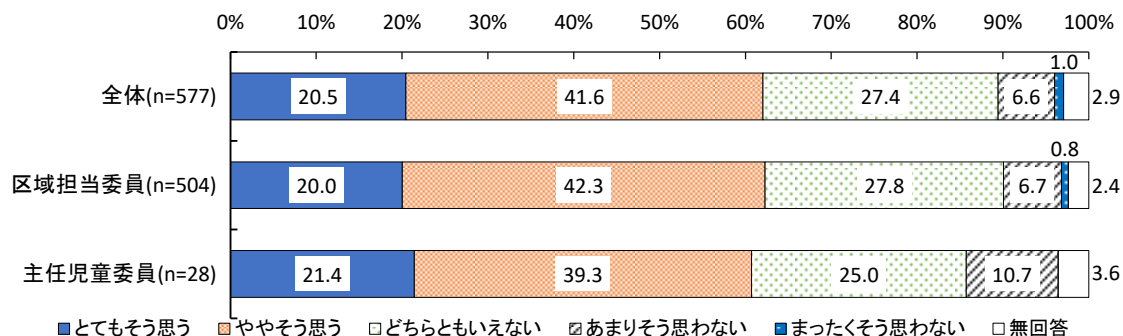
区域担当委員では、「そう思う」は62.3%で、「そう思わない」の7.5%よりも高かった。主任児童委員では、「そう思う」は60.7%で、「そう思わない」の10.7%よりも高かった。

市部・町村部別にみると、市部、町村部ともに「そう思う」が6割前後で、「そう思わない」よりも高かった。

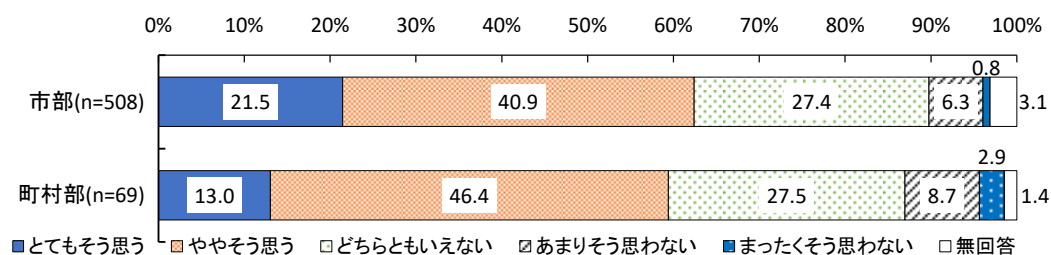
年齢別にみると、60歳以上の年齢では「そう思わない」がいずれも1割前後であった一方、50～59歳では2割を超え、他の年代に比べてやや高い割合であった。年齢が上がるにつれ、「やりがいを感じる」傾向がみられた。

経験年数別にみると、すべての経験年数で「そう思う」が「そう思わない」より高く、8期以上では「そう思わない」がいずれも0.0%であった。

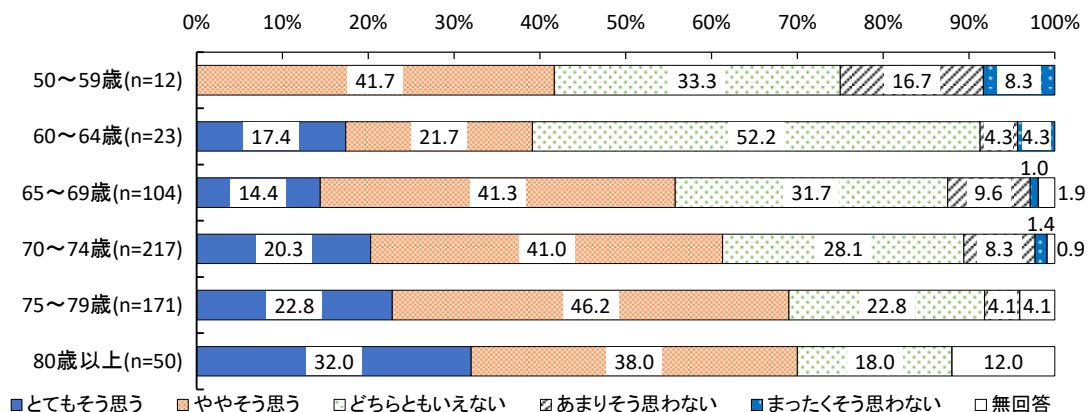
図表 42 やりがいを感じる



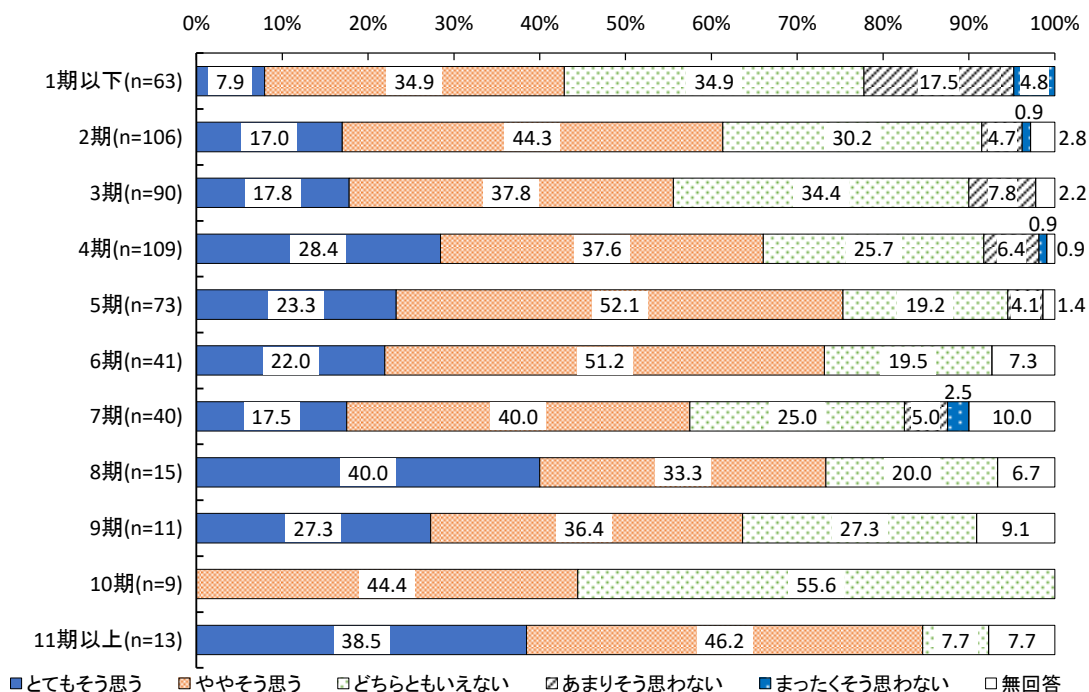
図表 43 やりがいを感じる（市部／町村部別）



図表 44 やりがいを感じる（年齢別）



図表 45 やりがいを感じる（経験年数別）



### ③ 就任前のイメージより大変だった

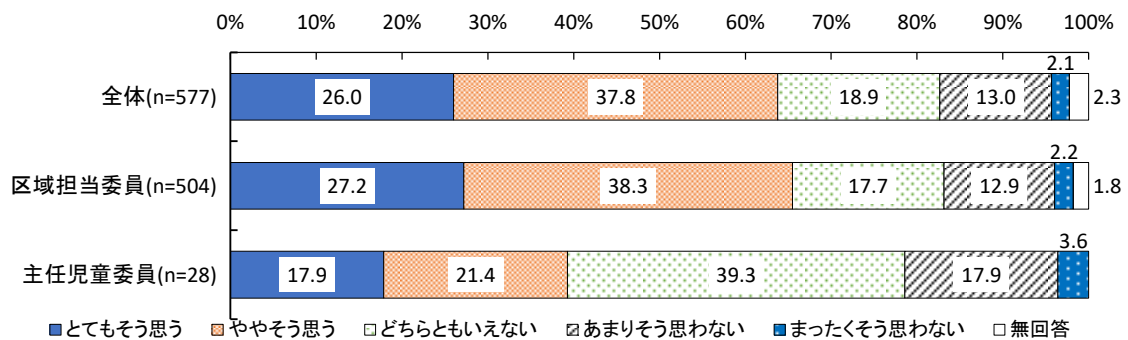
区域担当委員では、「そう思う」は65.5%で、「そう思わない」の15.1%よりも高かった。主任児童委員では、「そう思う」は39.3%で、「そう思わない」の21.5%よりも高かった。区域担当委員と主任児童委員の比較では、主任児童委員では「そう思う」が4割弱であった一方、区域担当委員では6割を超え、区域担当委員の方が就任前のイメージより大変だったと感じている傾向がみられた。

市部・町村部別にみると、市部、町村部ともに「そう思う」が6割で、「そう思わない」よりも高かった。

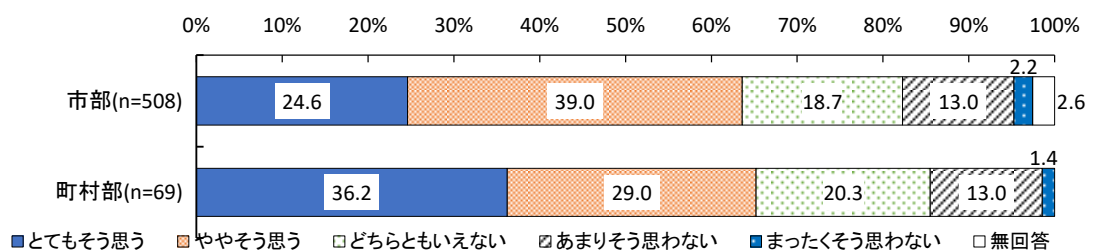
年齢別にみると、50～59歳では「とてもそう思う」が半数を占めた。年齢が低いほど、「とてもそう思う」割合が高く、就任前のイメージより大変だったと感じている傾向がみられた。

経験年数別にみると、すべての経験年数で「そう思う」が「そう思わない」より高かった。10期では「そう思う」が3割と他の年数に比べて割合が低かった。

図表 46 就任前のイメージより大変だった

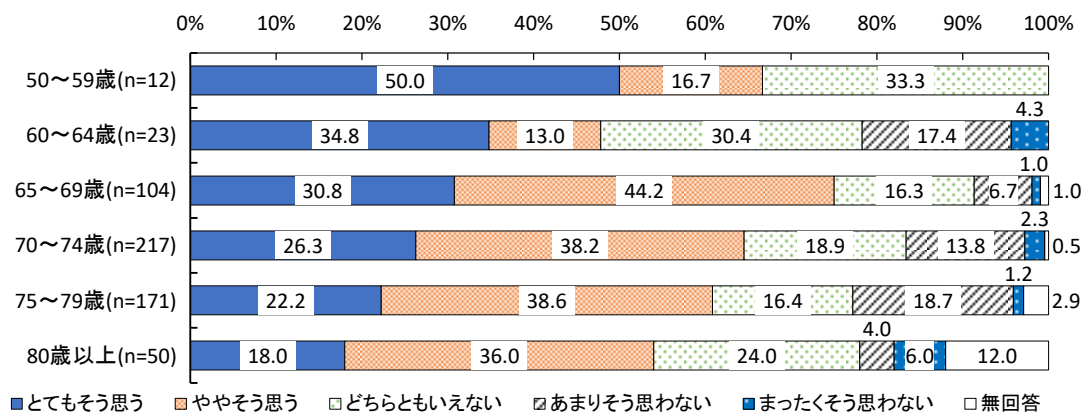


図表 47 就任前のイメージより大変だった（市部／町村部別）

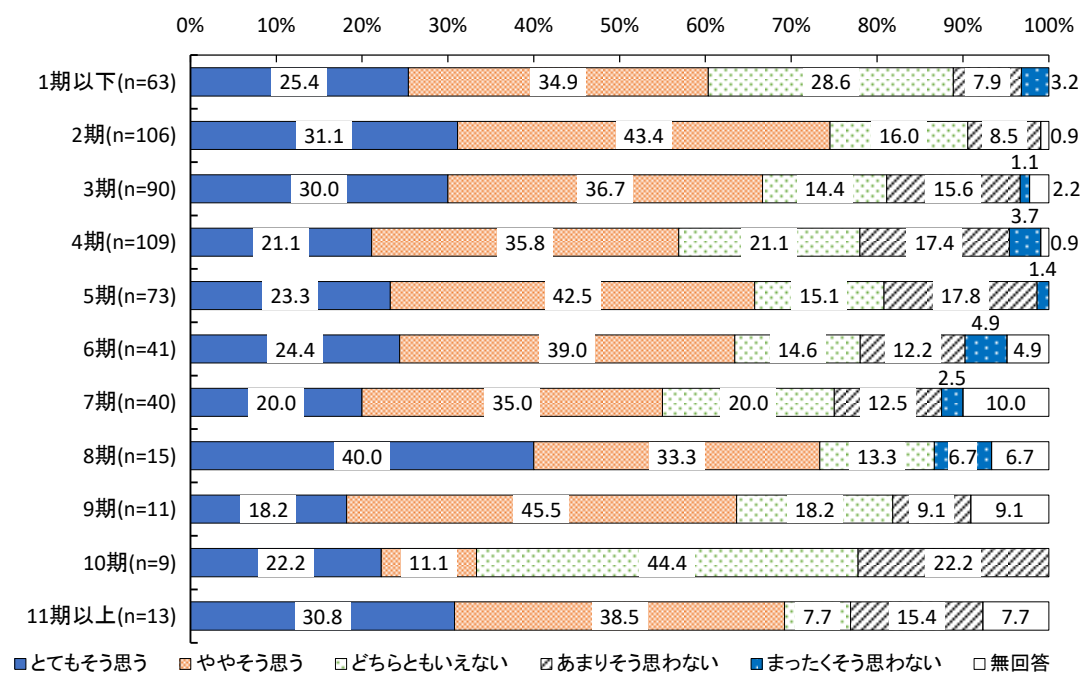




図表 48 就任前のイメージより大変だった (年齢別)



図表 49 就任前のイメージより大変だった (経験年数別)



#### ④ 委員になって良かったと思う

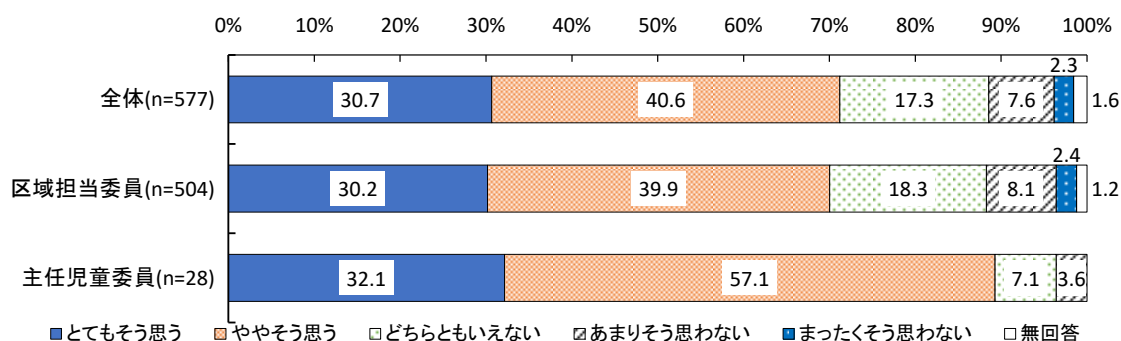
区域担当委員では、「そう思う」は70.1%で、「そう思わない」の10.5%よりも高かった。主任児童委員では、「そう思う」は89.2%で、「そう思わない」の3.6%よりも高かった。区域担当委員と主任児童委員の比較では、「そう思う」が区域担当委員では7割であった一方、主任児童委員では9割弱と高い割合を占め、主任児童委員の方が委員になって良かったと感じている傾向がみられた。

市部・町村部別にみると、市部、町村部ともに「そう思う」が「そう思わない」よりも高かった。市部は町村部に比べて、「そう思う」割合がやや高かった。

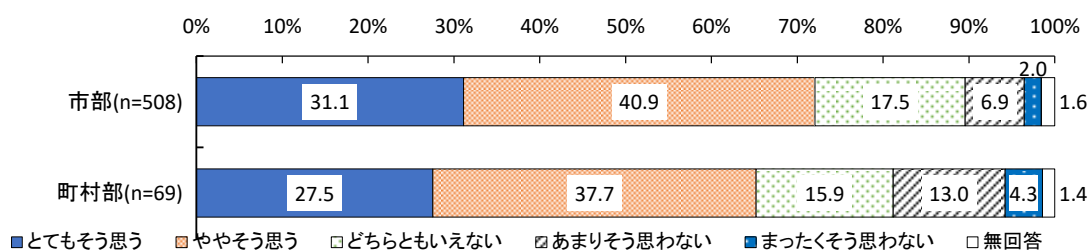
年齢別にみると、すべての年齢で「そう思う」が「そう思わない」よりも高く、年齢が高いほど、委員になって良かったと思っている傾向がみられた。

経験年数別にみると、すべての経験年数で「そう思う」が「そう思わない」より高かった。1期は「そう思わない」が2割台と他の年数に比べて割合がやや高かった。

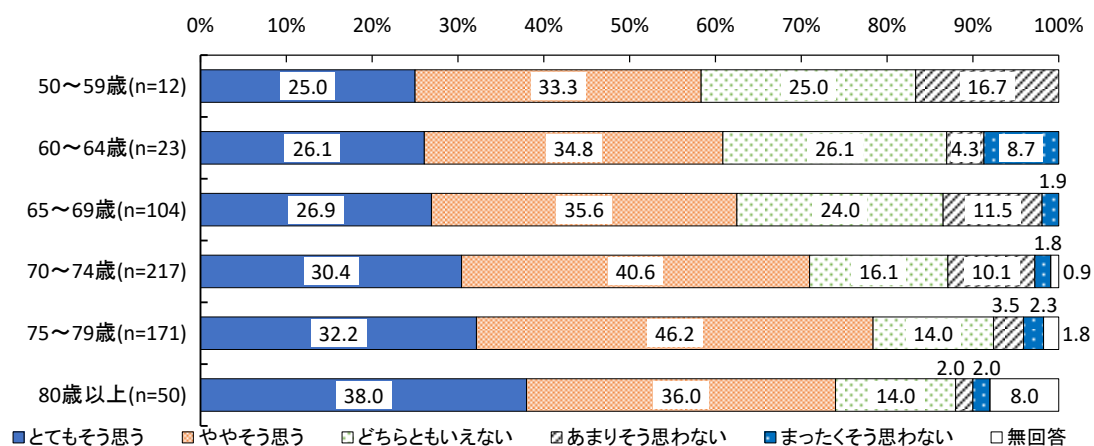
図表 50 委員になって良かったと思う



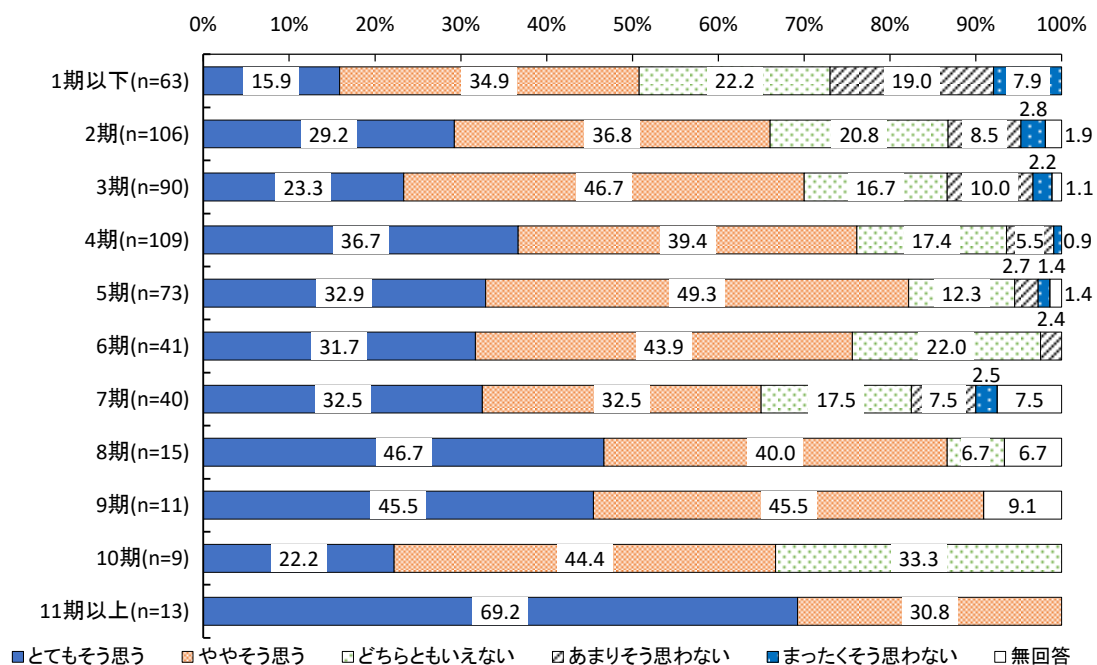
図表 51 委員になって良かったと思う（市部／町村部別）



図表 52 委員になって良かったと思う (年齢別)



図表 53 委員になって良かったと思う (経験年数別)



### (18) 委員活動で負担に感じていること（複数回答）

区域担当委員では、「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」が46.4%で最も高く、次いで「行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない」が41.9%、「地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい」が40.7%で続いた。

主任児童委員では、「活動の範囲や役割が明確化されていない」が39.3%で最も高く、「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」が35.7%、「行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない」が35.7%で続いた。

区域担当委員と主任児童委員の比較では、区域担当委員で「地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい」が4割、「社協からの協力依頼事項が多い」、「一人での訪問が難しい対象者がいる」がともに2割を超えた一方、主任児童委員ではいずれも1割未満と低い割合であった。また、「活動の範囲や役割が明確化されていない」は、区域担当委員に比べて、主任児童委員の割合がやや高かった。

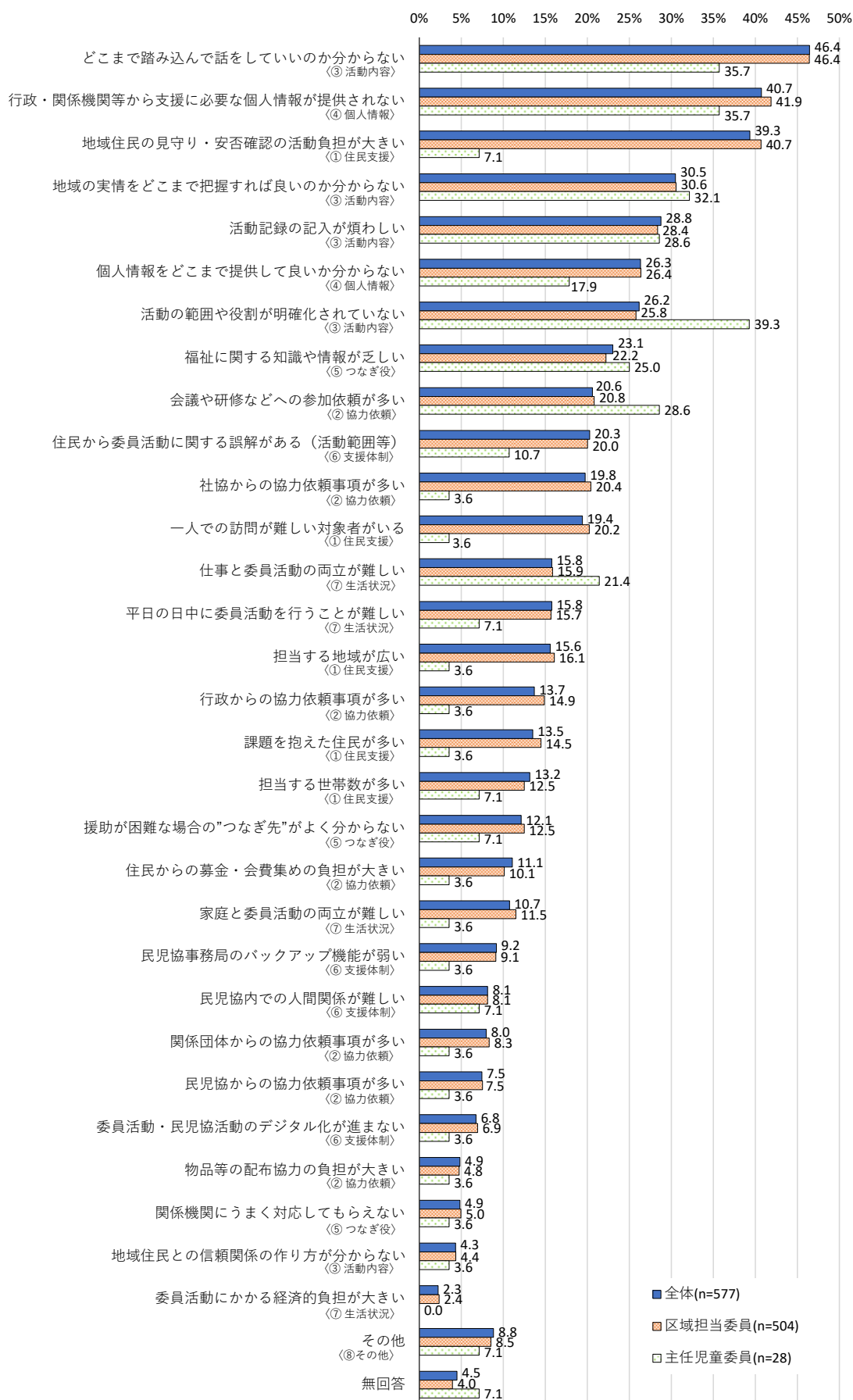
市部・町村部別にみると、上位3項目は市部、町村部ともに、「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」、「行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない」、「地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい」であった。また、「会議や研修などへの参加依頼が多い」、「行政からの協力依頼事項が多い」は町村部に比べて、市部に割合がやや高かった。

図表 54 委員活動で負担に感じていること 一覧

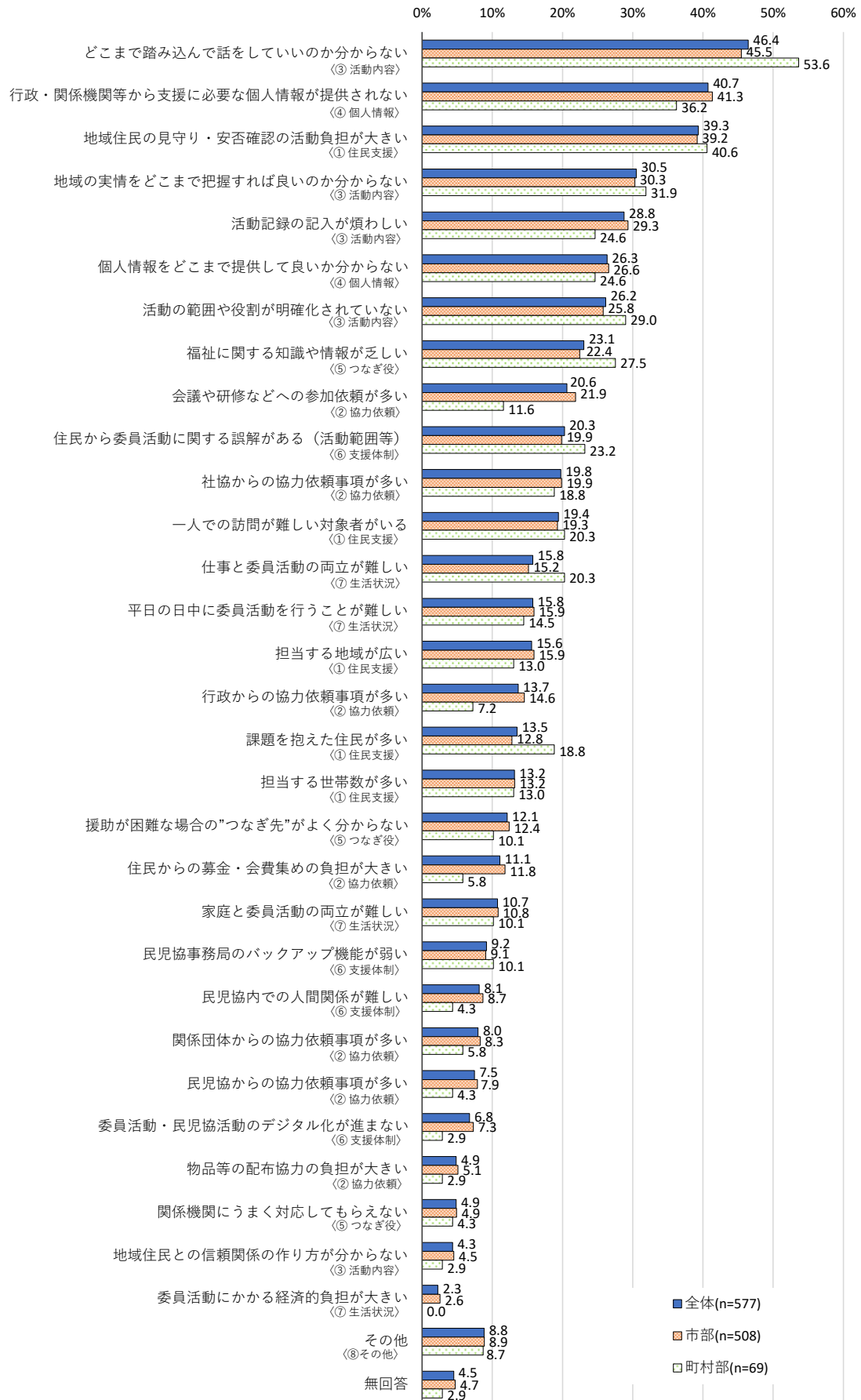
大項目	項目	全体 (n=577)	区域担当委員 (n=504)	主任児童委員 (n=28)	市部 (n=508)	町村部 (n=69)
①住民支援	地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい	39.3%	40.7%	7.1%	39.2%	40.6%
	課題を抱えた住民が多い	13.5%	14.5%	3.6%	12.8%	18.8%
	担当する世帯数が多い	13.2%	12.5%	7.1%	13.2%	13.0%
	担当する地域が広い	15.6%	16.1%	3.6%	15.9%	13.0%
	一人での訪問が難しい対象者がいる	19.4%	20.2%	3.6%	19.3%	20.3%
②協力依頼	民児協からの協力依頼事項が多い	7.5%	7.5%	3.6%	7.9%	4.3%
	行政からの協力依頼事項が多い	13.7%	14.9%	3.6%	14.6%	7.2%
	社協からの協力依頼事項が多い	19.8%	20.4%	3.6%	19.9%	18.8%
	関係団体からの協力依頼事項が多い	8.0%	8.3%	3.6%	8.3%	5.8%
	会議や研修などへの参加依頼が多い	20.6%	20.8%	28.6%	21.9%	11.6%
	物品等の配布協力の負担が大きい	4.9%	4.8%	3.6%	5.1%	2.9%
	住民からの募金・会費集めの負担が大きい	11.1%	10.1%	3.6%	11.8%	5.8%
③活動内容	活動記録の記入が煩わしい	28.8%	28.4%	28.6%	29.3%	24.6%
	活動の範囲や役割が明確化されていない	26.2%	25.8%	39.3%	25.8%	29.0%
	どこまで踏み込んで話をしているのか分からない	46.4%	46.4%	35.7%	45.5%	53.6%
	地域の実情をどこまで把握すれば良いのか分からない	30.5%	30.6%	32.1%	30.3%	31.9%
④個人情報	地域住民との信頼関係の作り方が分からない	4.3%	4.4%	3.6%	4.5%	2.9%
	行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない	40.7%	41.9%	35.7%	41.3%	36.2%
	個人情報をどこまで提供して良いか分からない	26.3%	26.4%	17.9%	26.6%	24.6%
⑤つなぎ役	福祉に関する知識や情報が乏しい	23.1%	22.2%	25.0%	22.4%	27.5%
	援助が困難な場合の“つなぎ先”がよく分からない	12.1%	12.5%	7.1%	12.4%	10.1%
	関係機関にうまく対応してもらえない	4.9%	5.0%	3.6%	4.9%	4.3%
⑥支援体制	民児協事務局のバックアップ機能が弱い	9.2%	9.1%	3.6%	9.1%	10.1%
	委員活動・民児協活動のデジタル化が進まない	6.8%	6.9%	3.6%	7.3%	2.9%
	民児協内での人間関係が難しい	8.1%	8.1%	7.1%	8.7%	4.3%
	住民から委員活動に関する誤解がある（活動範囲等）	20.3%	20.0%	10.7%	19.9%	23.2%
⑦生活状況	仕事と委員活動の両立が難しい	15.8%	15.9%	21.4%	15.2%	20.3%
	家庭と委員活動の両立が難しい	10.7%	11.5%	3.6%	10.8%	10.1%
	平日の日に委員活動を行うことが難しい	15.8%	15.7%	7.1%	15.9%	14.5%
	委員活動にかかる経済的負担が大きい	2.3%	2.4%	0.0%	2.6%	0.0%
⑧その他		8.8%	8.5%	7.1%	8.9%	8.7%
無回答		4.5%	4.0%	7.1%	4.7%	2.9%

※ ■ : 上位1項目、■ : 上位3項目

図表 55 委員活動で負担に感じていること



図表 56 委員活動で負担に感じていること（市部／町村部別）



### (19) 委員活動で特に大きな負担に感じている項目 (3 つまで)

区域担当委員では、「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」が 22.4%で最も割合が高く、次いで「行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない」

(18.8%)、「地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい」(16.5%)が続いた。主任児童委員では、「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」、「活動記録の記入が煩わしい」、「活動の範囲や役割が明確化されていない」がいずれも 21.4%で最も割合が高かった。

区域担当委員と主任児童委員を比較すると、「地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい」、「住民から委員活動に関する誤解がある(活動範囲等)」は主任児童委員に比べて、区域担当委員の割合が高かった一方、「活動記録の記入が煩わしい」、「活動の範囲や役割が明確化されていない」は区域担当委員に比べて、主任児童委員の割合が高かった。

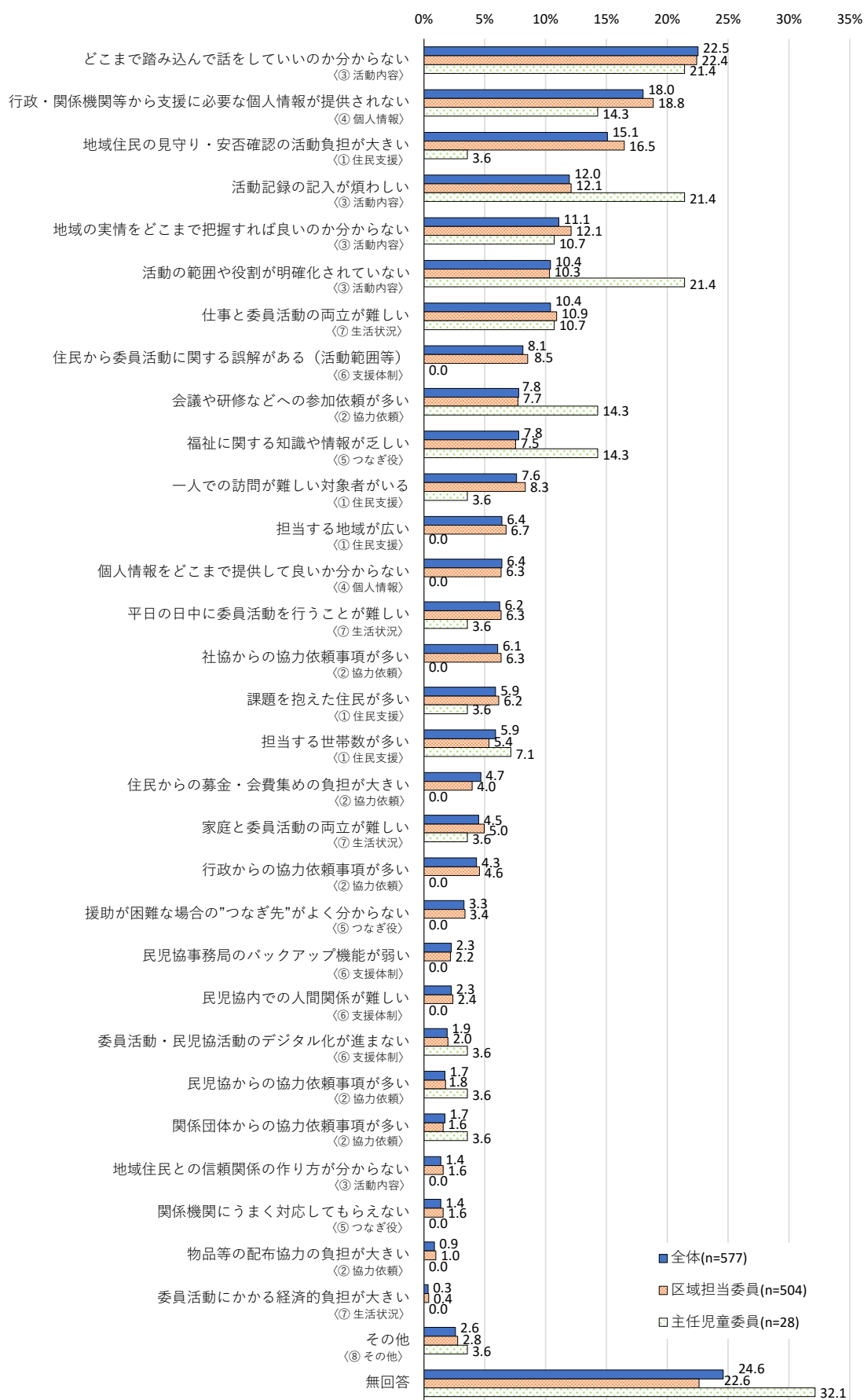
市部・町村部別にみると、市部では「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」が 21.5%で最も割合が高く、次いで「行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない」(18.1%)、「地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい」(14.6%)が続いた。町村部では「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」が 30.4%で最も割合が高く、「地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい」(18.8%)、「行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない」(17.4%)が続いた。また、「住民から委員活動に関する誤解がある(活動範囲等)」、「個人情報をどこまで提供して良いか分からない」、「一人での訪問が難しい対象者がいる」、「担当する世帯数が多い」は市部に比べて、町村部の割合が高かった。一方、「会議や研修などへの参加依頼が多い」は町村部に比べて、市部の割合がやや高かった。

図表 57 委員活動で特に大きな負担に感じていること 一覧

大項目	項目	全体 (n=577)	区域担当委員 (n=504)	主任児童委員 (n=28)	市部 (n=508)	町村部 (n=69)
①住民支援	地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい	15.1%	16.5%	3.6%	14.6%	18.8%
	課題を抱えた住民が多い	5.9%	6.2%	3.6%	5.7%	7.2%
	担当する世帯数が多い	5.9%	5.4%	7.1%	5.1%	11.6%
	担当する地域が広い	6.4%	6.7%	0.0%	6.5%	5.8%
②協力依頼	一人での訪問が難しい対象者がいる	7.6%	8.3%	3.6%	6.9%	13.0%
	民児協からの協力依頼事項が多い	1.7%	1.8%	3.6%	1.8%	1.4%
	行政からの協力依頼事項が多い	4.3%	4.6%	0.0%	4.7%	1.4%
	社協からの協力依頼事項が多い	6.1%	6.3%	0.0%	6.3%	4.3%
	関係団体からの協力依頼事項が多い	1.7%	1.6%	3.6%	1.8%	1.4%
	会議や研修などへの参加依頼が多い	7.8%	7.7%	14.3%	8.7%	1.4%
	物品等の配布協力の負担が大きい	0.9%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%
	住民からの募金・会費集めの負担が大きい	4.7%	4.0%	0.0%	4.9%	2.9%
③活動内容	活動記録の記入が煩わしい	12.0%	12.1%	21.4%	12.0%	11.6%
	活動の範囲や役割が明確化されていない	10.4%	10.3%	21.4%	10.0%	13.0%
	どこまで踏み込んで話をしているのか分からない	22.5%	22.4%	21.4%	21.5%	30.4%
	地域の実情をどこまで把握すれば良いのか分からない	11.1%	12.1%	10.7%	10.8%	13.0%
④個人情報	地域住民との信頼関係の作り方が分からない	1.4%	1.6%	0.0%	1.4%	1.4%
	行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない	18.0%	18.8%	14.3%	18.1%	17.4%
⑤つなぎ役	個人情報をどこまで提供して良いか分からない	6.4%	6.3%	0.0%	5.3%	14.5%
	福祉に関する知識や情報が乏しい	7.8%	7.5%	14.3%	7.5%	10.1%
⑥支援体制	援助が困難な場合の“つなぎ先”がよく分からない	3.3%	3.4%	0.0%	3.7%	0.0%
	関係機関にうまく対応してもらえない	1.4%	1.6%	0.0%	1.4%	1.4%
	民児協事務局のバックアップ機能が弱い	2.3%	2.2%	0.0%	2.4%	1.4%
	委員活動・民児協活動のデジタル化が進まない	1.9%	2.0%	3.6%	2.2%	0.0%
⑦生活状況	民児協内での人間関係が難しい	2.3%	2.4%	0.0%	2.4%	1.4%
	住民から委員活動に関する誤解がある(活動範囲等)	8.1%	8.5%	0.0%	7.1%	15.9%
	仕事と委員活動の両立が難しい	10.4%	10.9%	10.7%	10.0%	13.0%
	家庭と委員活動の両立が難しい	4.5%	5.0%	3.6%	4.9%	1.4%
	平日の日中に委員活動を行うことが難しい	6.2%	6.3%	3.6%	5.9%	8.7%
⑧その他	委員活動にかかる経済的負担が大きい	0.3%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%
	無回答	2.6%	2.8%	3.6%	2.8%	1.4%
無回答		24.6%	22.6%	32.1%	25.6%	17.4%

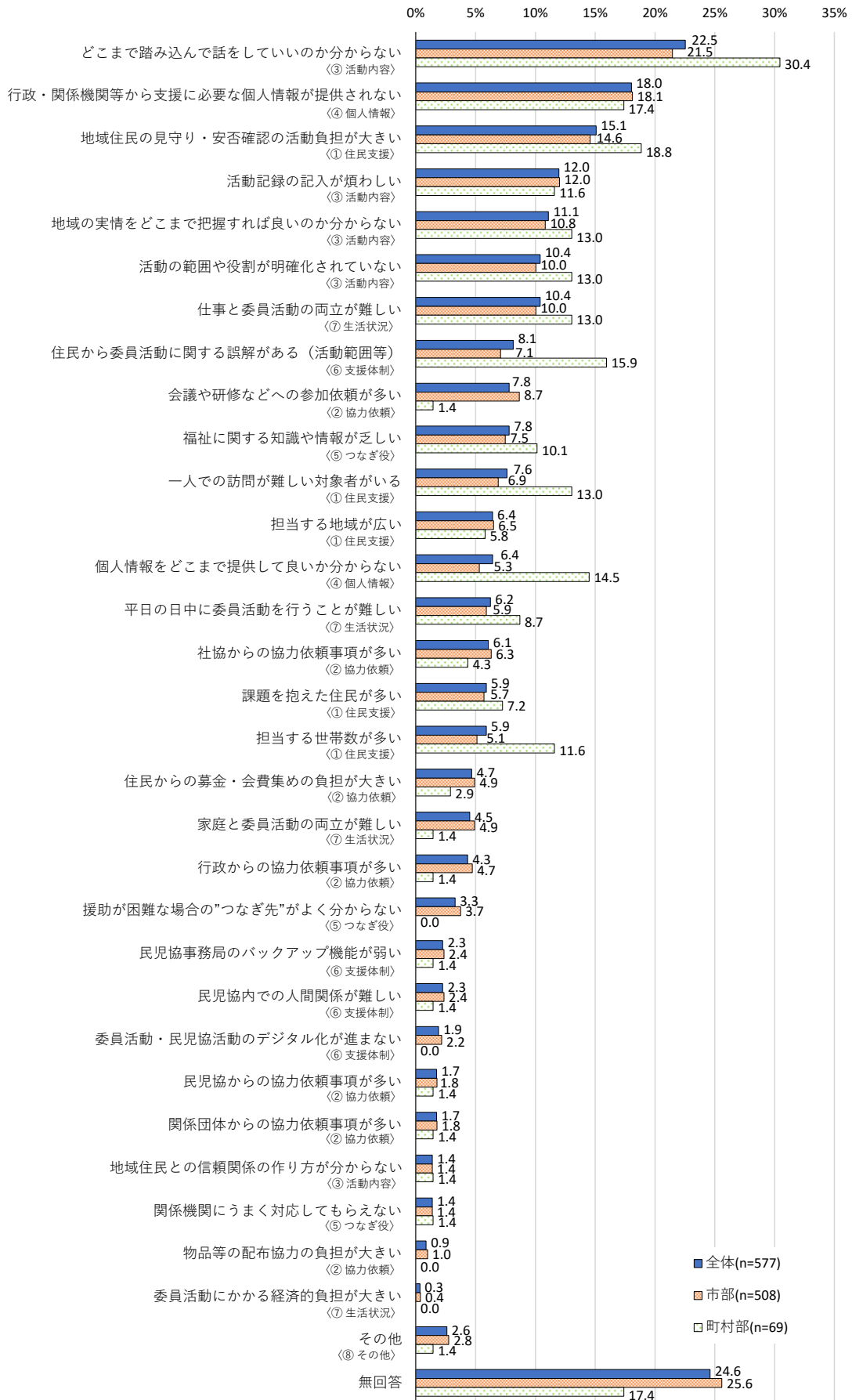
※ ■：上位1項目、■：上位3項目(無回答を除く)

図表 58 委員活動で特に大きな負担に感じていること





図表 59 委員活動で特に大きな負担に感じていること（市部／町村部別）



経験年数別にみると、1期以下は「活動記録の記入が煩わしい」、2期、3期、4期、8期、10期、11期以上では「どこまで踏み込んで話をしているのか分からない」、5期、6期、7期、9期、10期では「行政・関係機関等から支援に必要な個人情報提供されない」、8期、11期以上では「地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい」が最も高い割合であり、いずれも2～3割であった。

図表 60 委員活動で特に大きな負担に感じていること（経験年数別）

大項目	項目	1期以下 (n=63)	2期 (n=106)	3期 (n=90)	4期 (n=109)	5期 (n=73)	6期 (n=41)	7期 (n=40)	8期 (n=15)	9期 (n=11)	10期 (n=9)	11期以上 (n=13)
①住民支援	地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい	11.1%	19.8%	14.4%	15.6%	12.3%	9.8%	10.0%	26.7%	9.1%	11.1%	30.8%
	課題を抱えた住民が多い	4.8%	5.7%	6.7%	5.5%	2.7%	12.2%	2.5%	6.7%	9.1%	11.1%	15.4%
	担当する世帯数が多い	9.5%	4.7%	0.0%	5.5%	9.6%	4.9%	7.5%	0.0%	18.2%	11.1%	7.7%
	担当する地域が広い	6.3%	5.7%	5.6%	9.2%	2.7%	7.3%	2.5%	20.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	一人での訪問が難しい対象者がいる	9.5%	6.6%	8.9%	4.6%	6.8%	14.6%	7.5%	0.0%	9.1%	0.0%	15.4%
②協力依頼	民児協からの協力依頼事項が多い	3.2%	1.9%	1.1%	1.8%	1.4%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	行政からの協力依頼事項が多い	6.3%	1.9%	4.4%	7.3%	2.7%	0.0%	5.0%	0.0%	9.1%	11.1%	7.7%
	社協からの協力依頼事項が多い	3.2%	3.8%	4.4%	11.0%	6.8%	4.9%	5.0%	0.0%	18.2%	11.1%	7.7%
	関係団体からの協力依頼事項が多い	0.0%	1.9%	1.1%	3.7%	2.7%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会議や研修などへの参加依頼が多い	11.1%	10.4%	1.1%	10.1%	4.1%	7.3%	7.5%	13.3%	9.1%	0.0%	23.1%
	物品等の配布協力の負担が大きい	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	2.7%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	住民からの募金・会費集めの負担が大きい	1.6%	2.8%	2.2%	7.3%	2.7%	7.3%	10.0%	13.3%	9.1%	0.0%	7.7%
③活動内容	活動記録の記入が煩わしい	23.8%	14.2%	10.0%	9.2%	11.0%	4.9%	12.5%	0.0%	9.1%	22.2%	15.4%
	活動の範囲や役割が明確化されていない	12.7%	13.2%	16.7%	12.8%	2.7%	9.8%	0.0%	6.7%	9.1%	11.1%	0.0%
	どこまで踏み込んで話をしているのか分からない	20.6%	21.7%	30.0%	23.9%	23.3%	12.2%	12.5%	26.7%	18.2%	33.3%	30.8%
	地域の実情をどこまで把握すれば良いのか分からない	6.3%	14.2%	15.6%	11.9%	9.6%	4.9%	7.5%	6.7%	9.1%	11.1%	15.4%
	地域住民との信頼関係の作り方が分からない	0.0%	1.9%	3.3%	0.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④個人情報	行政・関係機関等から支援に必要な個人情報提供されない	9.5%	18.9%	11.1%	18.3%	26.0%	22.0%	25.0%	13.3%	27.3%	33.3%	7.7%
	個人情報をどこまで提供して良いか分からない	1.6%	3.8%	8.9%	8.3%	6.8%	7.3%	5.0%	6.7%	0.0%	22.2%	15.4%
⑤つなぎ役	福祉に関する知識や情報が乏しい	6.3%	11.3%	5.6%	8.3%	9.6%	7.3%	5.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%
	援助が困難な場合の”つなぎ先”がよく分からない	1.6%	1.9%	5.6%	4.6%	5.5%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	関係機関にうまく対応してもらえない	3.2%	1.9%	1.1%	0.9%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
⑥支援体制	民児協事務局のバックアップ機能が弱い	3.2%	0.0%	4.4%	2.8%	1.4%	2.4%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
	委員活動・民児協活動のデジタル化が進まない	3.2%	3.8%	1.1%	1.8%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	民児協内での人間関係が難しい	0.0%	3.8%	0.0%	3.7%	1.4%	4.9%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%
	住民から委員活動に関する誤解がある（活動範囲等）	1.6%	10.4%	6.7%	7.3%	15.1%	7.3%	12.5%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦生活状況	仕事と委員活動の両立が難しい	14.3%	17.0%	8.9%	4.6%	5.5%	9.8%	15.0%	6.7%	9.1%	0.0%	15.4%
	家庭と委員活動の両立が難しい	7.9%	6.6%	3.3%	3.7%	5.5%	0.0%	0.0%	6.7%	9.1%	0.0%	7.7%
	平日の日中に委員活動を行うことが難しい	12.7%	6.6%	7.8%	2.8%	0.0%	7.3%	10.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	委員活動にかかる経済的負担が大きい	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑧その他		3.2%	4.7%	2.2%	0.0%	2.7%	4.9%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答		27.0%	15.1%	24.4%	22.9%	27.4%	31.7%	37.5%	40.0%	27.3%	22.2%	23.1%

※ ■：上位1項目、■：上位3項目（無回答を除く）

(20) 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと（複数回答）

区域担当委員では、「委員活動に必要な個人情報の提供」が46.0%で最も高く、次いで「委員活動の範囲や役割の明確化」（37.1%）、「委員及び委員活動に対する認知度の向上」（28.2%）となった。主任児童委員では、「委員活動の範囲や役割の明確化」が53.6%で最も高く、次いで「委員及び委員活動に対する認知度の向上」（42.9%）、「委員活動に必要な個人情報の提供」（28.6%）となった。

区域担当委員と主任児童委員を比較すると、「委員活動に必要な個人情報の提供」、「適切な“つなぎ先”の確保、“つなぎ先”についての情報提供」は主任児童委員に比べて区域担当委員が高い割合であった。一方、「委員活動の範囲や役割の明確化」、「委員及び委員活動に対する認知度の向上」は区域担当委員に比べて主任児童委員が高い割合であった。

市部・町村部別にみると、いずれも「委員活動に必要な個人情報の提供」、「委員活動の範囲や役割の明確化」、「委員及び委員活動に対する認知度の向上」の順で続いた。「委員活動に必要な個人情報の提供」は市部に比べて、町村部でやや高い割合であった。

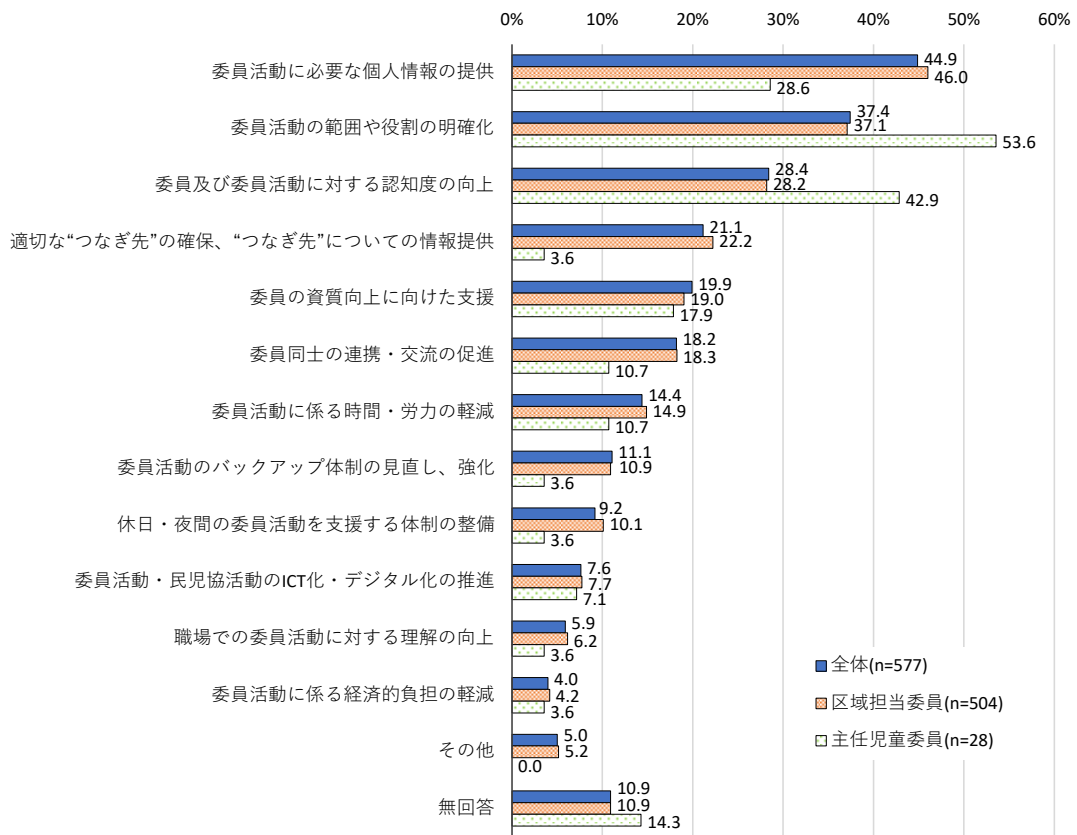
経験年数別にみると、1期以下および2期は「委員活動の範囲や役割の明確化」、その他の経験年数は「委員活動に必要な個人情報の提供」が最も高い割合であった。また、「委員活動の範囲や役割の明確化」は経験年数が短いほど、割合が高い傾向があり、「委員活動に必要な個人情報の提供」は経験年数が長いほど、割合が高い傾向がみられた。

図表 61 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと 一覧

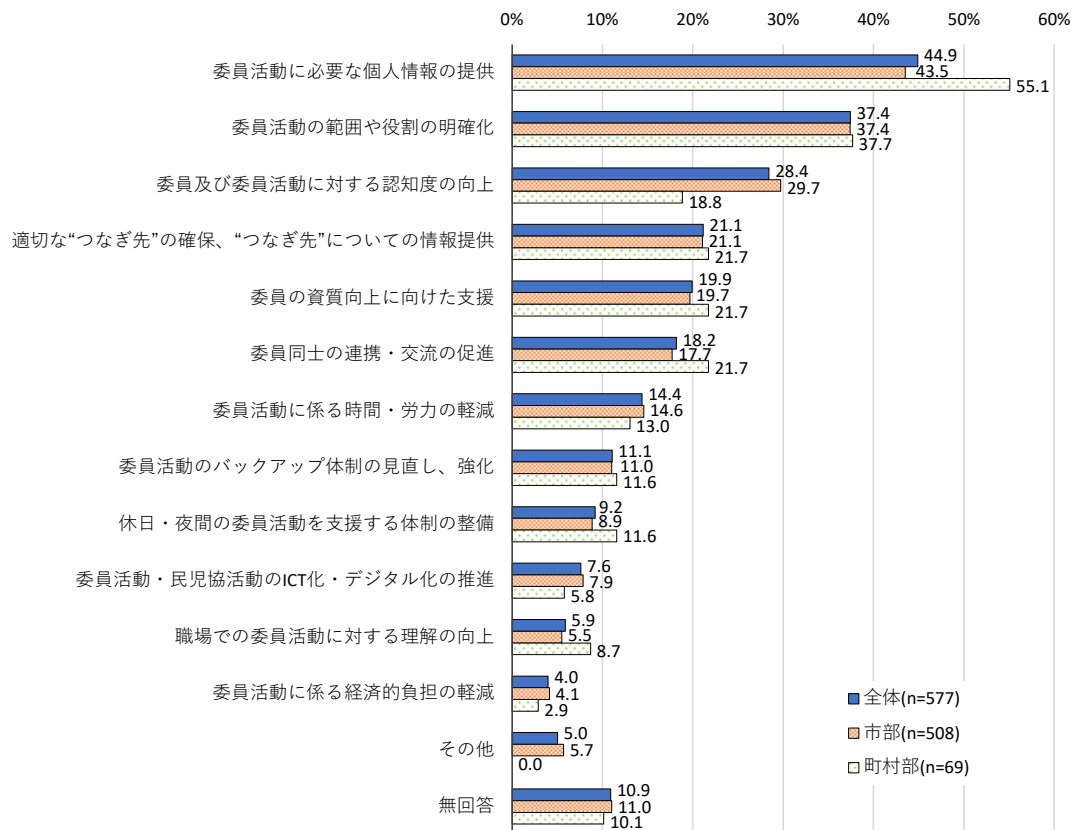
項目	全体 (n=577)	区域担当委員 (n=504)	主任児童委員 (n=28)	市部 (n=508)	町村部 (n=69)
委員活動に係る時間・労力の軽減	14.4%	14.9%	10.7%	14.6%	13.0%
委員活動の範囲や役割の明確化	37.4%	37.1%	53.6%	37.4%	37.7%
委員の資質向上に向けた支援	19.9%	19.0%	17.9%	19.7%	21.7%
委員活動に必要な個人情報の提供	44.9%	46.0%	28.6%	43.5%	55.1%
適切な“つなぎ先”の確保、“つなぎ先”についての情報提供	21.1%	22.2%	3.6%	21.1%	21.7%
休日・夜間の委員活動を支援する体制の整備	9.2%	10.1%	3.6%	8.9%	11.6%
委員活動のバックアップ体制の見直し、強化	11.1%	10.9%	3.6%	11.0%	11.6%
委員同士の連携・交流の促進	18.2%	18.3%	10.7%	17.7%	21.7%
委員活動・民児協活動のICT化・デジタル化の推進	7.6%	7.7%	7.1%	7.9%	5.8%
委員及び委員活動に対する認知度の向上	28.4%	28.2%	42.9%	29.7%	18.8%
職場での委員活動に対する理解の向上	5.9%	6.2%	3.6%	5.5%	8.7%
委員活動に係る経済的負担の軽減	4.0%	4.2%	3.6%	4.1%	2.9%
その他	5.0%	5.2%	0.0%	5.7%	0.0%
無回答	10.9%	10.9%	14.3%	11.0%	10.1%

※ ■：上位1項目、■：上位3項目

図表 62 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと



図表 63 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと（市部／町村部別）



図表 64 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと（経験年数別）

項目	1期以下 (n=63)	2期 (n=106)	3期 (n=90)	4期 (n=109)	5期 (n=73)	6期 (n=41)	7期 (n=40)	8期 (n=15)	9期 (n=11)	10期 (n=9)	11期以上 (n=13)
委員活動に係る時間・労力の軽減	17.5%	16.0%	15.6%	13.8%	11.0%	17.1%	15.0%	13.3%	9.1%	11.1%	7.7%
委員活動の範囲や役割の明確化	36.5%	41.5%	37.8%	45.9%	31.5%	34.1%	32.5%	26.7%	36.4%	22.2%	30.8%
委員の資質向上に向けた支援	19.0%	17.0%	18.9%	20.2%	19.2%	29.3%	15.0%	26.7%	27.3%	22.2%	30.8%
委員活動に必要な個人情報の提供	27.0%	38.7%	43.3%	47.7%	54.8%	51.2%	52.5%	53.3%	54.5%	55.6%	53.8%
適切な“つなぎ先”の確保、“つなぎ先”についての情報提供	25.4%	16.0%	26.7%	22.9%	16.4%	14.6%	20.0%	13.3%	18.2%	33.3%	38.5%
休日・夜間の委員活動を支援する体制の整備	9.5%	7.5%	11.1%	7.3%	11.0%	9.8%	10.0%	13.3%	0.0%	0.0%	23.1%
委員活動のバックアップ体制の見直し、強化	9.5%	7.5%	15.6%	12.8%	6.8%	17.1%	2.5%	13.3%	9.1%	22.2%	30.8%
委員同士の連携・交流の促進	12.7%	17.0%	18.9%	17.4%	20.5%	22.0%	15.0%	6.7%	27.3%	44.4%	23.1%
委員活動・民児協活動のICT化・デジタル化の推進	12.7%	9.4%	6.7%	4.6%	5.5%	2.4%	10.0%	6.7%	9.1%	11.1%	23.1%
委員及び委員活動に対する認知度の向上	25.4%	29.2%	33.3%	34.9%	32.9%	19.5%	15.0%	26.7%	18.2%	33.3%	15.4%
職場での委員活動に対する理解の向上	1.6%	2.8%	10.0%	5.5%	5.5%	4.9%	10.0%	6.7%	9.1%	0.0%	15.4%
委員活動に係る経済的負担の軽減	4.8%	1.9%	2.2%	6.4%	2.7%	2.4%	12.5%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
その他	4.8%	7.5%	5.6%	3.7%	4.1%	7.3%	2.5%	6.7%	9.1%	0.0%	0.0%
無回答	11.1%	6.6%	11.1%	9.2%	13.7%	14.6%	10.0%	13.3%	9.1%	22.2%	7.7%

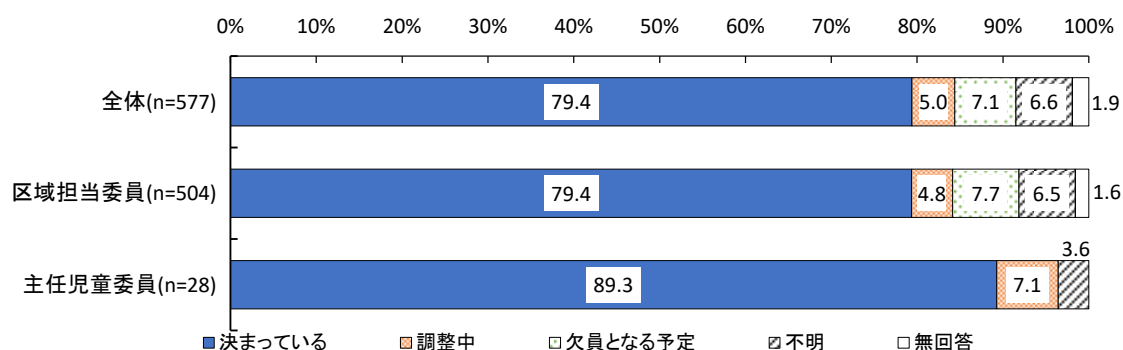
※ ■：上位1項目、■：上位3項目

### (21) 後任（予定）者の有無

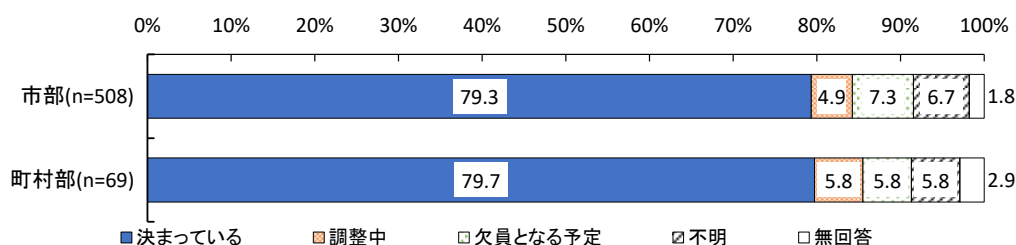
「決まっている」が区域担当委員では8割弱、主任児童委員では9割弱とともに最も高い割合となった。また、「欠員となる予定」は、区域担当委員では7.7%であった一方、主任児童委員では0.0%であった。

市部・町村部別にみると、ともに「決まっている」が8割弱で最も高かった。

図表 65 後任（予定）者の有無



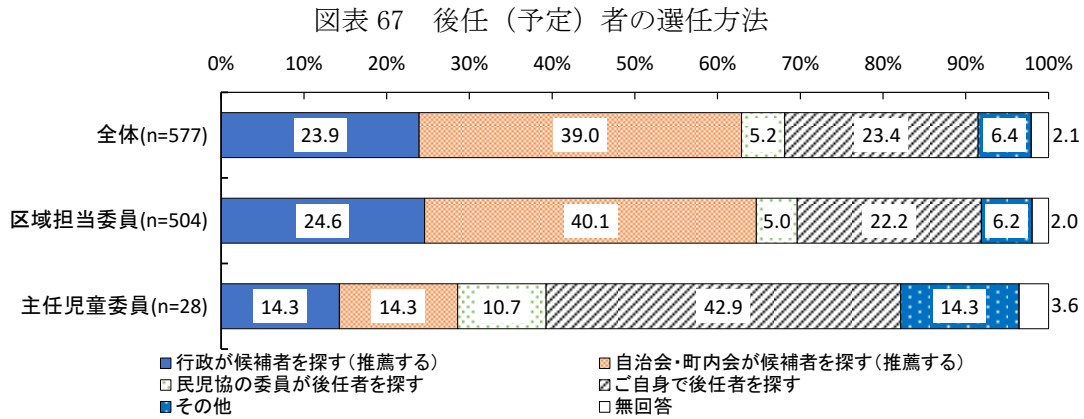
図表 66 後任（予定）者の有無（市部／町村部別）



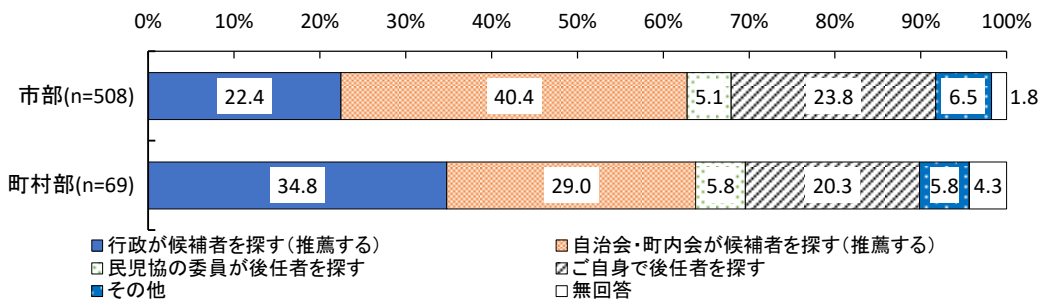
## (22) 後任（予定）者の選任方法

区域担当委員は「自治会・町内会が候補者を探す（推薦する）」が40.1%と最も高く、主任児童委員は「ご自身で後任者を探す」が42.9%で最も高かった。

市部・町村部別にみると、市部では「自治会・町内会が候補者を探す（推薦する）」が40.4%で最も高く、町村部では「行政が候補者を探す（推薦する）」が34.8%で最も高かった。



図表 68 後任（予定）者の選任方法（市部／町村部別）



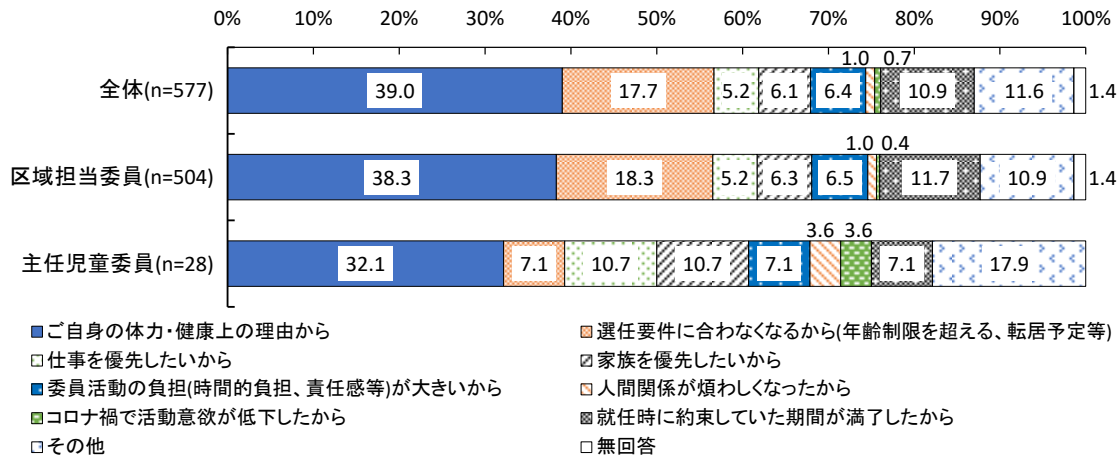
## (23) 退任する主な理由

区域担当委員では「体力・健康上の理由から」が38.3%で最も高く、「選任要件に合わなくなるから(年齢制限を超える、転居予定等)」が18.3%、「就任時に約束していた期間が満了したから」が11.7%で続いた。主任児童委員では「体力・健康上の理由から」が32.1%、「その他」が17.9%、「仕事を優先したいから」、「家族を優先したいから」がともに10.7%で続いた。

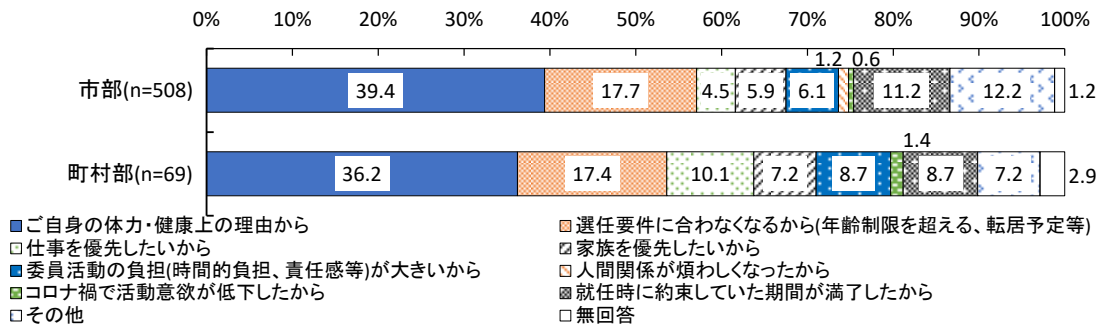
市部・町村部別にみると、市部、町村部ともに「体力・健康上の理由から」が3割で最も高かった。

年齢別にみると、「体力・健康上の理由から」は60歳以上、「選任要件に合わなくなるから(年齢、制限を超える、転居予定等)」は70歳以上の年齢で割合が高く、いずれも年齢が高いほど、割合が高い傾向がみられた。また、50～64歳では「仕事を優先したいから」の割合が高く、特に50代では4割を超え、最も高い割合であった。60代では「委員活動の負担(時間的負担、責任感等)」が大きいから」が他の年齢に比べ、割合がやや高かった。

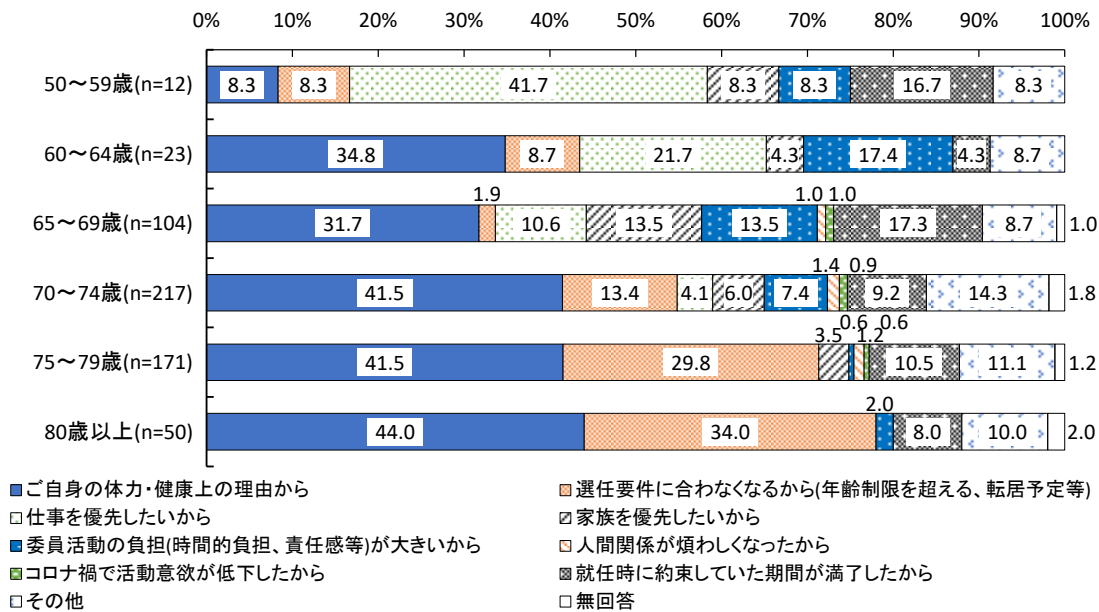
図表 69 退任する主な理由



図表 70 退任する主な理由 (市部／町村部別)



図表 71 退任する主な理由 (年齢別)



## (24) これから民生委員・児童委員になる方に向けて一言（自由記述）

回答の一部を抜粋して記載する。誤字等は校正しているため、回答の原文と異なる場合がある。

区域担当委員/ 主任児童委員	コメント
区域担当委員	町内の方々とのコミュニケーションが良好になった。民児協の活動に携わること、経験を重ねることにより自己啓発につながった。
区域担当委員	職場と自宅を往復するだけであった人間にとって、委員となり、近隣町内の方々・委員相互の交流によって多くのことを考え学ぶことができました。委員としてどれほどお役に立てたかは心許ない限りですが、充実させていただいた20年余りでした。
区域担当委員	第一に自分の健康と家族の健康を考えながら、地域の安全・安心な姿を求めながら「あせらず、無理せず」歩んでいけば、おのずと結果はついてくると思います。日頃から「あいさつと笑顔」で、地域の方々と会話をはずませながら活動できるように。「頑張れ民生委員・児童委員」
区域担当委員	民生委員として、その肩書で地域で悩みや困りごとを抱えた顔見知りの方の相談相手として関わることのプレッシャーを感じます。秘密保持と誠実な対応で、関係団体や関係者につないでプラスの結果が出た時の喜びが24年の年月を支えてくれました。
区域担当委員	一人での訪問もあるが、福祉委員と一緒に訪問して、担当町内の方々とのふれあいを持って欲しい。
区域担当委員	無理せず自分のできる範囲で気持ちを楽しんで活動して欲しい。民生委員は行政等とのつなぎ役です。決定機関ではないことを自覚することが大事です。
区域担当委員	自分の体調に気を付けて、各家庭の訪問活動をして欲しい。（自分の健康が一番大事だと思います）
区域担当委員	これからの民生委員になる方へ。これからますます地域の高齢化が進み、一人暮らしの人も増えると思われますので、関係団体の協力を得ながら無理せず続けていって欲しいと思います。
区域担当委員	担当住民との信頼関係を築くのは時間が必要です。最初は負担に思うかもしれませんが、「頼りにしています」と言ってもらえるのは、嬉しいものです。良き聞き役になるよう気長にお付き合いするよう頑張りましょう。
区域担当委員	コロナ禍で民生委員の役割は一層深まり広がった。難儀はあるが、地域において社会を支えるというやりがいはいは大きいものがある。自分のためになると思ってできることをできる範囲でやっていくのがいいと思う。



区域担当委員	これまで主に一人暮らし高齢者を対象に声かけ、訪問活動を行ってきました。訪問した際、不在の時は「お元気ですか」とメモを書いて郵便受けに入れてきます。メモを読んで電話をくれると安心します。不在がちな方でも、出かけ先でお会いするとにこやかにあいさつをしてくれますので、例え一言のメモでもつながりになってくれるように思います。民生委員一人でできることは限りがありますので、頑張りすぎず、“隣近所の支えも大切”との思いを持ち続け地域を見守っていただきたいと思います。
区域担当委員	就任当初は、仕事内容や人の顔と名前を覚えるのに苦労されると思いますが、二期目に入ると仕事や人にもだいぶ慣れてきます。民生委員になった負担よりも、地域の多くの方々や同じ民生委員の方々を知り合えた喜びの方が大きいです。
区域担当委員	問題点が起きたら、自分で悩まず、包括・社協・先輩委員に相談するようにしてほしい。
区域担当委員	3年間だけやらせていただき、大変やりがいのある楽しいことと思っております。ようやくいろんなことが分かりかけてきた時に辞めるのは少し残念に思います。とても良い体験になりますのでどうぞ長く続けてください。時に孤独感を味わうこともありますが、遠慮せず相談してください。気軽に相談できるそんな民児協であって欲しいです。
区域担当委員	人の考えは十人十色、いくら善意だとしても自分の考えを押し付けないようにしたらと思います。毎月定例会があるので、分からないことは先輩委員によく聞いて頑張ってください。今まで、ありがとうございました。
区域担当委員	民生委員になって、住み慣れた町内には、自力解決できずに何かしら手助けが必要な方がいることを知りました。その実情に耳を傾け、状況を確認して行政の取組（サービス）と照らし合わせる。また相談を繰り返したように思います。そこには地域・隣人の皆さんの支援情報等に支えられていました。「地域のみんなで、地域のみんなを見守る」この意識を強く感じました。私は11月いっぱい退任いたしますが、この貴重な経験をまた違った場面でも是非活かしていきたいと思っています。
区域担当委員	民児協の委員同士が複数で活動を展開することで、近隣住民の意見を聞くことができる。
区域担当委員	住民同士のつながりも希薄になってきています。また個人情報の秘守義務による行政からの情報提供の制限など、活動するにも難しくなっています。行政からの依頼のもとに活動を展開できるようにするシステムがあると良いなと思いました。

区域担当委員	一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象として訪問活動（見守り）が多いため、日頃町内会長さんからの情報収集が必須。その為に普段からのコミュニケーションが大事と思う。特に数か所の町内会を担当する委員。
区域担当委員	民生委員になる方々は年齢も近く、定例会や部会活動においてはとても参考になる情報がたくさんあります。それは自分自身にとっても豊かな人生の栄養剤となります、必ず。どうかプラス思考で地域を見守って欲しいと思います。
区域担当委員	支援を必要とする方々には特に、対象の方を“敬意の心をもって接すること”が不可欠だと思います。また何でも話せる関係をつくり、話してもらったことは最大限プライバシーを大事にして信頼関係を構築して欲しいです。肩に力を入れすぎず仲間に時には頼り、長く、心身の健康を保ち活動してください。
区域担当委員	頑張りすぎないことです。私の場合、前の委員の方が30年間続けてこられ、地域の人との関係性が濃く、なかなか心を開いてくれるまで時間を要しました。前の委員のようにはいかないことも多々あり、負担になることもありました。しかし「自分は自分のやり方でいいんだ！」と心に決め、活動を続けてきました。分からないことは素直に先輩委員の方に相談する。これが一番でしたね。
区域担当委員	私が一番勇気づけられたのは、会長さんの「できることを無理せずできる範囲でやり続けてください。」という言葉でした。どうかこれから民生委員をされる方も、いろいろなことがあると思いますが、事務局や行政の方々に頼りながら、無理せず、自分ができる事をできる範囲で長くやり続けていただきたいと思います。長くやることで見えてくることもたくさんあると思いますので。
区域担当委員	民生委員・児童委員信条の理解。委員の存在活動の意義を良く表しております。このことを理想として活動したいものです。中でも最後の「常に公正を旨とし、人格と職見の向上に努めます」。家族や自分のためになったと思っております。
区域担当委員	無理をせず、できる範囲でストレスにならないように活動をして欲しいです。自分や家族を犠牲にしてまで活動するものではありません。特に女性の方は家のこともし、親が健在なら突如介護という問題も出てくるかもしれません。民生委員も一人の人間です。一人で抱え込まないで相談し解決して踏み出してもらいたいです。年数を重ね、徐々に楽しいことや達成感などを感じる時がきます。最初の3年は苦労しますが、二期目に入るとやりがいも覚え、しっかり仲間になれました。どうか最低でも2期は続けてもらいたいものです。

区域担当委員	冬の見守りについて、一人暮らしの高齢者の安否確認はとても重要だと感じています。屋根の雪の状態を見て、他の家に比べて雪が多すぎる家や、カーテンが閉まった切りの玄関や、郵便受けがたまっている家は、何かしら問題が起きていることが多いです。応答のない家の住民には見守られている安心感を感じてもらえるよう、暖かい言葉とその人の心に寄り添うことが大切だと思います。私もそのことを日々心に置いて活動したいと思います。
主任児童委員	主任児童委員でしたので、自分の仕事のなかでの体験と知識が有効的に活動に活かされた状況に出くわしたことがあります、その時はこの仕事を受けて良かったと感じた瞬間でした。小学校のコーディネーターも当時進行だったので、学校の生活や保育園児の生活なども伝えと、委員の皆さんから「何も知らなかったことを話してくれるお陰ですごく有難い」と言ってもらい、私にとってこの活動は本当に充実した15年間であったと感謝しています。
主任児童委員	主任児童委員は担当区域も広く、最初は子ども達の情報もなかなか入ってこないように思います。幼稚園、小学校、中学校などとの連絡、またいろいろな行事などへの参加で、それも次第に解決されると思います。特に若いお母様方（就学前の子どもを持つ母）と接し、自分が子育てした時代とは全く違うと言って良いくらい、世の中の進歩を感じ勉強になりました。若い人達や子どもたちと多く接することができたことに、とても嬉しく思っています。
無回答	できることは協力する。できないことははっきり断ることが必要だと思います。無理すると自分が苦しくなります。

#### 4. 調査票

# 「退任民生委員・児童委員を対象とした実態調査」調査票

秋田県民生児童委員協議会

## 【調査票の回答について】

- ・個人が特定されることはありませんので率直なご意見をお聞かせください。
- ・指定がある場合を除き、令和4年10月1日時点の状況を記入してください。
- ・設問に不明な点等ございましたら、秋田県民児協事務局にお問合せください。

秋田県民児協事務局 TEL 018-864-2714 E-mail chiiki@akitakenshakyo.or.jp

## 【調査票の返送について】

調査票記入後、同封の返信用封筒に調査票のみを入れて、12月23日（金）まで投函してください。

## 【該当する選択肢の番号を○で囲むか、該当する内容を具体的にご記入ください】

問1 所属している民児協名（記入例：●●市●●地区、●●町、●●村）

民児協	市町村番号
-----	-------

問2 単位民児協での役割（主なもの1つだけに○）

1. 会長	2. 副会長	3. 会計	4. 部会長
5. その他（		）	6. 特になし

問3 性別（1つだけに○）

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問4 令和4年12月1日時点の年齢（1つだけに○）

1. 39歳以下	2. 40～49歳	3. 50～59歳	4. 60～64歳
5. 65～69歳	6. 70～74歳	7. 75～79歳	8. 80歳以上

問5 委員としての経験年数（令和4年10月1日時点）（数字を記入）

年
---

問6 民生委員・児童委員としての役割（どちらかに○）

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| 1. 区域担当委員（主任児童委員ではない） | →問6-2に進んでください。 |
| 2. 主任児童委員             | →問7に進んでください。   |

問6-2【区域担当委員のみ回答】 担当する区域の世帯数（1つだけに○）

※欠員等の影響による、本来の区域・役割以外で担当している分は除いてお答えください。

- |              |              |              |       |
|--------------|--------------|--------------|-------|
| 1. 99世帯以下    | 2. 100～199世帯 | 3. 200～299世帯 |       |
| 4. 300～399世帯 | 5. 400～999世帯 | 6. 1,000世帯以上 | 7. 不明 |

問7 現在、訪問・支援等で関わりがある世帯数（本来の担当区域・地域分のみ）（数字を記入）

世帯
----

問8 欠員等の影響による、本来の区域・役割以外での担当状況（どちらかに○）

- |   |
|---|
| 1. 担当している（区域担当委員が欠員委員分の区域をカバーしている場合や、主任児童委員が区域担当委員分をカバーしている場合も含む）<br>→問8-2に進んでください。 |
| 2. 担当していない（本来の担当区域、役割のみ） →問9に進んでください。   |

問8-2【担当している方のみ回答】本来の区域以外で担当している合計世帯数（1つだけに○）

- |              |              |              |       |
|--------------|--------------|--------------|-------|
| 1. 99世帯以下    | 2. 100～199世帯 | 3. 200～299世帯 |       |
| 4. 300～399世帯 | 5. 400～999世帯 | 6. 1,000世帯以上 | 7. 不明 |

問8-3【担当している方のみ回答】 本来の区域以外で、訪問・支援等関わりがある世帯数

世帯
----

（数字を記入）

問9 現在の就労状況（どちらかに○）

- |                              |                |
|------------------------------|----------------|
| 1. 就労している（常勤・非常勤問わず、家族従業員含む） | →問9-2に進んでください。 |
| 2. 就労していない                   | →問10に進んでください。  |

問9-2【就労している方のみ回答】現在の主な職業（1つだけに○）

- |                   |            |        |
|-------------------|------------|--------|
| 1. 自営業            | 2. 会社員     | 3. 公務員 |
| 4. 団体職員           | 5. 福祉事業従事者 |        |
| 6. その他（具体的に_____） |            |        |

問 10 初めて委員に就任した当時の就労状況（どちらかに○）

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 就労していた（常勤・非常勤問わず、家族従業員含む） |
| 2. 就労していなかった                 |

問 11 これまで就労した主な産業（常勤・非常勤問わず、家族従業員含む）（1つだけに○）

- |                    |                       |                  |
|--------------------|-----------------------|------------------|
| 1. 農林水産業           | 2. 建設業、鉱業             | 3. 製造業           |
| 4. 熱供給業、水道業        | 5. 情報通信業、運輸業          | 6. 卸売・小売業        |
| 7. 金融・保険業          | 8. 不動産・賃貸業            | 9. 教育系サービス業      |
| 10. 宿泊・飲食・娯楽系サービス業 | 11. 保健医療              |                  |
| 12. 福祉             | 13. サービス業（他に分類されないもの） |                  |
| 14. 宗教             | 15. 公務                | 16. なし（専業主婦・夫含む） |
| 17. その他（具体的に_____） |                       |                  |

問 12 初めて委員に推薦された際の主な理由として考えられること（1つだけに○）

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 自治会・町内会での活動経験があったから      |
| 2. PTA 活動や子育ての経験があったから      |
| 3. 地域でのボランティア活動の経験があったから    |
| 4. 仕事（福祉・教育・宗教関係、公務員等）の関連から |
| 5. 家族が委員を経験していたから           |
| 6. 家族の介護を経験していたから           |
| 7. その他（_____）               |

問 13 委員活動に対するお気持ち（各項目 1つだけに○）

項 目	とても そう思う ←	やや そう思う ←	どちらとも いえない →	あまり そう思わない →	まったく そう思わない
(1) 有意義な活動である	1	2	3	4	5
(2) やりがいを感じる	1	2	3	4	5
(3) 就任前のイメージ より大変だった	1	2	3	4	5
(4) 委員になって 良かったと思う	1	2	3	4	5

問 14 委員活動で負担に感じていること（当てはまる番号すべてに○）

大項目	No.	項 目
住民支援	1	地域住民の見守り・安否確認の活動負担が大きい
	2	課題を抱えた住民が多い
	3	担当する世帯数が多い
	4	担当する地域が広い
	5	一人での訪問が難しい対象者がいる
協力依頼	6	民児協からの協力依頼事項が多い
	7	行政からの協力依頼事項が多い
	8	社協からの協力依頼事項が多い
	9	関係団体からの協力依頼事項が多い
	10	会議や研修などへの参加依頼が多い
	11	物品等の配布協力の負担が大きい
	12	住民からの募金・会費集めの負担が大きい
活動内容	13	活動記録の記入が煩わしい
	14	活動の範囲や役割が明確化されていない
	15	どこまで踏み込んで話をしているのか分からない
	16	地域の実情をどこまで把握すれば良いのか分からない
	17	地域住民との信頼関係の作り方が分からない
個人情報	18	行政・関係機関等から支援に必要な個人情報が提供されない
	19	個人情報をどこまで提供して良いか分からない
つなぎ役	20	福祉に関する知識や情報が乏しい
	21	援助が困難な場合の“つなぎ先”がよく分からない
	22	関係機関にうまく対応してもらえない
支援体制	23	民児協事務局のバックアップ機能が弱い
	24	委員活動・民児協活動のデジタル化が進まない
	25	民児協内での人間関係が難しい
	26	住民から委員活動に関する誤解がある（活動範囲等）
生活状況	27	仕事と委員活動の両立が難しい
	28	家庭と委員活動の両立が難しい
	29	平日の日中に委員活動を行うことが難しい
	30	委員活動にかかる経済的負担が大きい
その他	31	その他（_____）



問 15 上記項目で特に大きな負担に感じている項目（3つまで選んで数字を記入してください）

No.	No.	No.
-----	-----	-----



問 16 持続可能な委員活動とするために、改善を望むこと（当てはまる番号すべてに○）

No.	項 目
1	委員活動に係る時間・労力の軽減
2	委員活動の範囲や役割の明確化
3	委員の資質向上に向けた支援
4	委員活動に必要な個人情報の提供
5	適切な“つなぎ先”の確保、“つなぎ先”についての情報提供
6	休日・夜間の委員活動を支援する体制の整備
7	委員活動のバックアップ体制の見直し、強化
8	委員同士の連携・交流の促進
9	委員活動・民児協活動のICT化・デジタル化の推進
10	委員及び委員活動に対する認知度の向上
11	職場での委員活動に対する理解の向上
12	委員活動に係る経済的負担の軽減
13	その他（_____）

問 17 ご自身の後任(予定)者の有無（1つだけに○）

1. 決まっている 2. 調整中 3. 欠員となる予定 4. 不明

問 18 ご自身の後任(予定)者の選任方法（最も当てはまるもの1つだけに○）

1. 行政が候補者を探す（推薦する）  
 2. 自治会・町内会が候補者を探す（推薦する）  
 3. 民児協の委員が後任者を探す  
 4. ご自身で後任者を探す  
 5. その他（具体的に\_\_\_\_\_）

問 19 ご自身が退任される主な理由（最も当てはまるもの1つだけに○）

1. 自身の体力・健康上の理由から  
 2. 選任要件に合わなくなるから（年齢制限を超える、転居予定等）  
 3. 仕事を優先したいから  
 4. 家族を優先したいから  
 5. 委員活動の負担（時間的負担、責任感等）が大きいから  
 6. 人間関係が煩わしくなったから  
 7. コロナ禍で活動意欲が低下したから  
 8. 就任時に約束していた期間が満了したから  
 9. その他（具体的に\_\_\_\_\_）

問 20 これから民生委員・児童委員になる方へ向けて一言お願いします。(自由記述)

※個人が特定されない形で本会の広報物に掲載させていただく場合がございますのでご了承ください。

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

令和4年度

退任民生委員・児童委員を対象とした実態調査報告書

令和5年3月

発行 秋田県民生児童委員協議会  
〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1番5号  
TEL 018-864-2714 FAX 018-864-2742

委託先 株式会社フィデア情報総研  
〒010-0951 秋田県秋田市山王三丁目4番23号  
TEL 018-837-1727 FAX 018-834-5508

